(監督員)

[記入方法] 該	核当する項目の口にレマークを認	記入する。				(監督員)
考査項目	細別	a	b	С	d	е
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
1. 施工体制	I. 施工体制一般 当面運用しな	②品質証明員が関係書類、出来形、品質 る。 □□ ⑤元請が下請の作業成果を検査している ⑥施工計画書の内容と現場施工方法が一 □□ ⑦緊急指示、災害、事故等が発生した場 ■□ ⑧現場に対する本店や支店による支援体 □□ ⑨工場製作期間における技術者を適切に	いる。	- I −12−1) - I −12−3) R質証明に係る体制が有効に機能してい	□ 施工体制一般に関して、監 督職員が文書による改善指 示を行った。	□ 施工体制一般に関して、監督 職員からの文書による改善指 示に従わなかった。
		●判断基準 評価値が90%以上・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・ b 評価値が80%未満・・ c	① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目 ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算 ③ 評価値(0%)=該当項目数(0)/評価 ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合	D値で評価する。 f対象項目数 (4)	d	e
	Ⅱ.配置技術者		ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	(現場代理人等)	「評価対象項目」 【全体を評価する項目】 □ ①「施エプロセス」のチェックリストの □ ②作業に必要な作業主任者及び専門技術 【現場代理人を評価する項目】 ■ □ ③現場代理人が、工事全体を把握してい	のうち、配置技術者について指示事項が無い。 者を選任及び配置している。 ※ 1-II- る。 は、監督職員と協議するなどの必要な対応を さっている。 ※ 1-II-6-2) 1) 適切に作成し、整理している。 等を理解し、施工に反映している。 気象、地質等)への対応を図っている。 、技術的な指導を行っている。 ※ 1 基づいて技術的な判断を行っている。 ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の ② 評価値(〇 %)=該当項目数(〇)/評価 ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合	7-1)、8-1) を行っている。 ※ 2-I-11-2) 1-II-9-3) -I-4-8) は左の口にチェックを記入する。 D値で評価する。 i対象項目数 (7)	□ 配置技術者に関して、監督 職員が文書による改善指示 を行った。	□ 配置技術者に関して、監督 員からの文書による改善指示 に従わなかった。

^{※「}施工プロセス」チェックリストの対象工事は、これを活用して評価を行う。

考査項目	細別	а	b	С	d	е
	_	 適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
2. 施工状况	I. 施工管理	「評価対象項目」 「「評価対象項目」 「「施工プロセス」のチェックリストのう ②施工計画書が、設計図書及び現場条件を □□ ③現場条件の変化に対して、適切に対応し ④工事材料の品質に影響が無いよう保管し □□ ⑤日常の出来形管理を、設計図書及び施工計 □□ ⑥日常の出来野管理を、設計図書及び施工計 □□ ③指定材料の品質証明書及び写真等を整理 □□ ⑨工事打合せ簿を、不足無く整理していている。 □□ ⑩建設副産物の再利用等への取り組みを適 □□ ⑪工事全般において、低騒音型、低振動型 □□ ⑪工事全般において、低騒音型、低振動型 □□ ⑫ その他(理由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がち、施工管理について指示事項が無い。 に反映したものとなっている。 ※ いている。 2 - I - 13 - 2) 計画書に基づき適時及び的確に行っている。 画書に基づき適時及び的確に行っている。 ししている。 にしている。 ※ 1 にはいる。 ※ 1	2-I-12-4) 5。 ※ 2-I-13-3) ※ 2-I-13-3) 2-I-17-1) E用している。 ※ 2-I-18-1) は左の口にチェックを記入する。 値で評価する。 評価対象項目数 ()		・ 「適切である」 □ 施工管理に関して、監督職員 からの文書による改善指示に 従わなかった。
		※「施工プロセス」チェックリストの対象工事は、これの対象工程を、これの、これの、これの、これの、これの、これの、これの、これの、これの、これの	1.を活用して評価を行う。			

考查項目	細別	a	b C		d	е
2. 施工状況		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	□ 工程管理	「評価対象項目」 ①「施工プロセス」のチェックリストのう ②工程に与える要因を的確に把握し、それ ③実施工程表の作成及びフォローアップを ④現場条件の変化への対応が迅速であり、 ⑤時間制限や片側交互通行等の各種制約へ ■ ○ ⑥工事の進捗を早めるための取り組みを行 ■ ○ ⑦適切な工程管理を行い、工程の遅れが無 ■ ○ ⑧計画工程以外の時間外作業がほとんど無 ○ □ ○ ⑩その他 理由:	□ 工程管理に関して、監督職員 が文書による改善指示を行っ た。	□ 工程管理に関して、監督職員から の文書による改善指示に従わな かった。		
		●判断基準 評価値が90%以上・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・ b 評価値が80%未満・・・ c				
		a	b	С	d	е
	Ⅲ. 安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		「評価対象項目」 (1)「純エブロセス」のチェックリストのう ②災害防止協議会等を1回/月以上行って ③安全教育及び安全訓練等を半日/月以上 (3) 新規入場者教育の内容に、当該工事の現 「5)工事期間を通じて、労働災害及び公衆災 (6)過積財防止に取り組んでいる。 (7)仮設工の点検及び管理を、チェックリス (8)保安施設の設置及び管理を、各種基準及 (9)地下埋設物及び架空線等に関する事故院 (10)をの他 理由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・ b 評価値が80%未満・・・ c	□ 安全対策に関して、監督職員 が文書による改善指示を行っ た。	□ 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。		
Ī		a	ь	c	d	е
	Ⅳ.対外関係	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		「評価対象項目」 □□ (①「施工プロセス」のチェックリストのう □ (②関係官公庁などと調整を行い、トラブル □□ (③地元との調整を行い、トラブルの発生が □□ (③第三者からの苦情が無い。もしくは、苦 □□ (⑤関連工事との調整を行い、円滑な進捗に □□ (⑥工事の目的及び内容を、工事看板などに □□ (⑦その他 理由: ●判断基準 評価値が80%以上・・・・・・・・ 評価値が80%以上90%未満・・ b 評価値が80%以上90%未満・・ b	/の発生が無い。 ※ 2- ▼ -22-1 ^が 無い。 :情に対して適切な対応を行っている。 :取り組んでいる。	 ※ 2-IV-22-2) ※ 2-IV-22-4) ※ 2-II-22-3) は左の口にチェックを記入する。 値で評価する。	□ 対外関係に関して、監督職員 が文書による改善指示を行っ た。	□ 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
		※「佐工プロセフ・チェックリフトの対象工事は、つ	④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合	は C 評価 C 9 る。		

^{※ 「}施工プロセス」チェックリストの対象工事は、これを活用して評価を行う。

考査項目	細別	工種	а	b	С	d	<u> </u>
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	土 木	口出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。 ※ばらつきの判定は別紙-5参照。	口出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	口出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a.bに該当しない。	口出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	□ 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。 引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。
			① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定する② 出来形とは、設計図書に示された工事目的③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準づき所定の出来形を確保する管理体系であたっいては、監督職員と協議の上で出来形④ 出来形管理項目を設定していない工事は「	の物の形状及び寸法をいう。 注」の測定項目、測定基準及び規格値に基 5るが、当該管理基準によりがたい場合等 が管理をおこなうものである。			
			a	ь	c	d	е
		機械設備工事 ※上記欄によらす、当該欄で評価	適切である 「評価対象項目」 ①据付に関する出来形管理が容易に把握で2段備全般にわたり、形状及び寸法の実演□ ③施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満しているい出来形管理□ ⑤不可視部分の出来形を写真撮影している⑥塗接管理基準の塗装厚管理を適切にまと⑦溶接管理基準の出来形管理している8社内の管理基準に基づき管理している8社内の管理基準によびき管理している9般計図書で定められている予備品に不足□ ⑪分解整備における既設部分等の摩耗、損□ ⑪その他 □ ⑪分解整備における既設部分等の摩耗、損□ ⑪をの他 □ ⑪分解整備における既設部分等の摩耗、損□ ⑪の分解整備における既設部分等の摩耗、損□ ⑪の分解整備における既設部分等の摩耗、損□ ⑪の分解整備における既設部分等の摩耗、損□ ⑪の分解整備における既設部分等の摩耗、損□ ⑪の分解表 □ ⑫の分解表 □ ⑫の分解表 □ ⑫のの □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	値が許容範囲内である。 記足している。 !項目について、監督職員と協議の上で管理。 とめている。 こめている。 ごが無い。	限している。 記及び回復状況を図表等に記録している。 は左の口にチェックを記入する。 値で評価する。 評価対象項目数 ()	口 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	□ 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。 引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。

考査項目	細別	エ 種	a	b	С	d	e
			適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		
3. 出来形		電気通信設備工	「評価対象項目」	•		ロ 出来形の測定方法又は	□ 契約書第17条に基づ
及び		通信設備工事・	□□ ①据付に関する出来形管理が容易に把握る	できるよう、出来形管理図及び出来形管理表	を工夫している。	測定値が不適切であっ	き、監督職員が改造請求
出来ばえ		受変電設備工事	□□ ②機器等の測定(試験)結果が、その都具	度管理図表などに記録され、適切に管理して	いる。	たため、監督職員が文	を行った。
			□□ ③不可視部分の出来形を写真撮影している	3.		書で改善指示を行っ	引渡し後、瑕疵担保期間
	I. 出来形		□□ ④設計図書で定められていない出来形管理	里項目について、監督職員と協議の上で管理	!している。	た。	中に事故等により瑕疵が
		※上記欄によら	□□ ⑤設備全般にわたり、形状及び寸法の実派	則値が許容範囲内である。			判明した。
		ず、当該欄で評	□□ ⑥設備の据付及び固定方法が設計図書又は	は承諾図通り施工している。			
		100	□□ ⑦配管及び配線が、設計図書又は承諾図書	書通りに敷設している。			
			□□ ⑧測定機器のキャリブレーションを、定期	明的に実施している。			
			□□ ⑨行先などを表示した名札がケーブルなる	どに分かり易く堅固に取り付けている。			
			□□ ⑩配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等に	こついて、設計図書の仕様を満足しているこ	とが確認できる。		
			□□ ⑪社内の管理基準に基づき管理している。				
			□□ ⑫その他				
			理由:			<u> </u>	
			●判断基準				
			評価値が80%以上・・・・・ a	① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は	は左の口にチェックを記入する。		
			評価値が60%以上80%未満・・ b	② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の	値で評価する。		
			評価値が60%未満・・・ c	③ 評価値 (%)=該当項目数 ()/	評価対象項目数()		
				④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合	はc評価とする。		
						<u>]</u>	

							(主任監督員)
考查項目細	別	工種	а	b	С	d	е
3. 出来形 及び 出来ばえ		土 木	口品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	口品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	口品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督職員 が文書で改善指示を	□ 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。 引渡し後、瑕疵担保期間
п.	品質		※ばらつきの判定は別紙-5参照。 ① 品質の評定は、工事全般を通じて評定する ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物品質管理とは、「土木工事施工管理基準」	の規格である。		行った。	中に事故等により瑕疵が判明した。
			③ 〈全ての段階における品質確保のため管理 ④ 品質管理項目を設定していない工事は「c				
			а	b	С	d	е
	村	幾械設備工事	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		
	※す価	、当該欄で評	「評価対象項目」	5り確保している。 5い、承諾図書として提出している。 5が、承諾図書として提出している。 5が展して、成績書にまとめられている。 5時値を満足している。 5表示灯を承諾図書のとおり配置し、操作性が 7承諾図書のとおり敷設している。 6とおり敷設している。 6をひ交換を必要とする部品並びに箇所を明 7にいる。 7を検作業を容易にできるように工夫している。 7が見やすい状態で表示している。 7が見やすい状態で表示している。 7は別様を加ている。 7は別様を施している。	口品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善 指示を行った。	□契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。 ○司渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。	

考查項目	細別	エ 種	a	b	С	d	е
			適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 品質	電気通信設備工・受変電設備工・受変電設備工・受変電設備工工・場所ででである。 ※上記欄により すんぱん 一個 「一個」 「一個」 「一個」 「一個」 「一個」 「一個」 「一個」 「	「評価対象項目」 □ ①製作着手前に、品質や性能の確保に係る □ ②材料、部品の品質照合の結果が、品質係 □ ③機器の品質、機能及び性能が、設計図書	は抗術検討を実施している。 証書等(現物照合を含む)で確認でき、記 を満足し、成績書にまとめている。 の配置され、操作性に優れている。 正計画書に記載された手順に沿って行われ 満足しているとともに、必要な安産装置が 満足しているとともに、必要な安産装置が にしている。 で性能が確認できない場合において、工物 がは、(修繕(改造・更新含む)の場合は、 の部品及び箇所を明示している。	設計図書の仕様を満足している。 1、不具合が無い。 2び保護装置の動作が確認できる。 認試験などで確認している。 修繕又は更新)している。 3。 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	ロ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督職員 が文書で改善指示を 行った。	日契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。 引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。
		維持・修繕工事	<u>a</u> 適切である	b ほぼ適切である	<u>C</u> 他の評価に該当しない	d	e
		無付・修育上事 ※上記欄によらず、当該欄で評価	関切してある 「評価対象項目」 「常に緊急的な作業に対応できる体制を整 ②緊急的な作業に対し、迅速に対応してい ③監督職員の指示事項に対し、現地状況を ④施工後のメンテナンスに対する提言や修 ⑤理由: ⑥理由: ⑦理由: ③理由: ③理由: ③理由: ③理由: ① 注 記載の4項目以上・・・・ な ※該当項目が3項目以下・・・・ な 注 記載の4項目を必須の評価対象項目と ただし、評価対象項目は最大8項目とする	経えている。 いる。 と勘案し、施工方法や構造について提案を行 に続サイクル等を勘案した提案等を行ってい に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	口 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で あったため、監督職員 が文書で改善指示を 行った。	□ 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。 引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。	

+ +	4m Dil			T		
考査項目	細別	,	工夫事項	~		
				【施工】		【その他】
5. 創意工夫	I. 創意工夫			①施工に伴う哭目 丁目 基署等に関する	工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。	□ その他
	1. 83/8/27					理由:
				②コンクリート二次製品などの代替材の利		连田 ·
				③土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コン	'クリート打設等の施工に関する工夫。	
				④部材並びに機材等の運搬及び吊り方式な	・どの施工方法に関する工夫	口 その他
			ΙĒ	⑤設備工事における加工や組立等又は電気		理由:
			_			在四 ·
					管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。	
				⑦照明などの視界の確保に関する工夫。		□ その他
			Ιп	⑧仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施	丁に関する工士	理由:
				②運搬車両、施工機械等に関する工夫。	1 CA 9 C 1 A	
						- 7.0/h
				⑩支保工、型枠工、足場工、仮桟橋、覆工	. 板、山留め等の仮設工に関する工天。	□ その他
				⑪盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に	関する工夫。	理由:
				②施工計画書の作成、写真の管理等に関す		
						T 7.0/h
				③出来形又は品質の計測、集計、管理図等		□その他
				他施工管理ソフト、土量管理システム等の	活用に関する工夫。	理由:
				⑤情報化施工技術(一般化推准技術, 事用	化検討技術及び確認段階技術に限る)を活用した工事。	
			—	※本項目は2点の加点とする。		□その他
			l			
				⑥特殊な工法や材料を用いた工事。		理由:
				⑪優れた技術力又は能力として評価する技	:術を用いた工事。	
			ļ	【新技術活用】		
		l (<u> </u>		.る技術 <u>」以外を活用し、活用効果結果を提出している。</u>	
				When Sewall サイ	の技制」以外で治川し、治川効未結末で提面している。	
				※本項目は2点の加点とする。		
				②NETIS評価情報技術のうち「有用と	される技術」を活用し、活用効果結果を提出している。	
				※本項目は4点の加点とする。		
		L		②NETIS ではいる。 「有田と	される技術」を活用し、活用効果調査表を提出している。	
	4 本	፲運用しない │ │		※本項目は4点の加点とする。	- 80113 CHISTON DELICATION TO COLOR COLOR	
			l _			
	(【 វ 新	技術活用】)			施技術及び「有用とされる技術」以外の新技術を活用し、発注者による	吉用効果調査結果の総合評価点か120点以上である。
				※本項目は4点の加点とする。		
				※新技術の活用に関する上記4項目での加	占け農士 <u>4占とする</u>	
				ン	(元)	
				大学にもは、九注音及び前具音の放力によ	の主しい心川効木嗣且衣で唯論しに上し加州を行う。 「四ち根安」も根介のでは、「なきおがお中」な四しも根介は、から世界。	ヒニャナット・ウェース
					用を提案した場合のみとし、発注者が指定し活用した場合は、加点措置:	
		\	ł	※ここで、「有用とされる技術」とは、推	:奨技術、準推奨技術、設計比較対象技術、活用促進技術、小実績優良技 術	前をいう。
				【品質】		
				①土工、設備、電気の品質向上に関する工	±	
				②コンクリートの材料、打設、養生に関す		
				③鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次	製品等の使用材料に関する上天。	
				④配筋、溶接作業等に関する工夫。		
				【安全衛生】		
				①建設業労働災害防止協会が定める指針に	其づく安全海生物奈ち宝体している	
					至ノへ女主用工教育を大肥している。	
			l	※本項目は2点の加点とする。		
				②安全を確保するための仮設備等に関する	工夫。(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足1	易等)
				③安全教育、技術向上講習会、安全パトロ	ール等に関する工夫。	
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □					
	□ ⑤有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び料					
				⑥一般車両突入時の被害軽減方策又は一般	交通の安全催保に関する工夫。	
				⑦厳しい作業環境の改善に関する工夫。		
				◎環境保全に関する工夫。		
	記載評価				【創意工夫の詳細評価】工夫の内容及び具体的内容を記載	
	(レマークを付		l			
			l	評点;点		
	けた評価内容を		1			
	詳細記述)		l			

- ※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※2. 評価は各項目において1つレ点が付されれば1,2,4点で評価し、最大7点の加点評価とする。
- ※3. 該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。
- ※4. 上記の考察項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

(担当課長)

考查項目	細別		а		b		С	d	е
2. 施工状況	Ⅱ.工程管理		優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
			「評価対象項目」	整に取り組み、遅れを発生 たことにより、休日や夜間 取り組みが見られた。 期的な制約がある場合によ	Eさせることなく工事を完 引工事の回避等を行い、地 おいて、余裕をもって工事	成させた。 域住民に公共工事に対する を完成させた。	ロエ程管理に関して、監督 職員が文書による改善指示 を行った。	口工程管理に関して、監督職 員からの文書による改善指示 に従わなかった。	
			●判断基準		該当項目が3項目以上・・・ 該当項目が1~2項目 該当項目なし・・・	· · · · b			
	Ⅲ.安全対策		а		b		С	d	е
			優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
			「評価対象項目」 ① 建設労働災害及び公衆災 ② 安全衛生を確保するため ③ 安全衛生を確保する技術開 ⑤ 安全協議会での活動に積 ⑥ 安全対策に係る取り組み ⑦ その他 理由:	の管理体制を整備し、組織、他の模範となるような活発や創意工夫に取り組んた極的に取り組んだ。	戦的に取り組んだ。 5動に積極的に取り組んだ	. •		□安全対策に関して、監督 職員が文書による改善指示 を行った。	□安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	●判断基準 該当項目が3項目以上・・・・・ a 該当項目が1~2項目 ・・・・ b 該当項目なし ・・・・ c								

(担当課長)

						(担当課長)
考査項目	細別		対 応 事 項	【事例】具体的な施工条件等への対応策		
	I 施工条件等への 対応		I 構造物の特殊性への対応 ① 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事 ② 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 ③ その他 理由: ※上記の対応事項に1つ以上し点がつけば4点の加点とする。		(②、について) ・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事などはが消道内の流水部における橋脚の撤去工事。 ・供用中の道路トンネルの拡幅工事。	(③、について) - その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事 - その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 - 地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。
			Ⅱ都市部等の作業環境、社会条件等への対応 ④ 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 ⑤ 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 ⑥ 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 ⑦ 現道上での交通規制に大きく影響する工事 ⑧ 繁急時に対応が特に必要な工事 ⑨ 施工箇所が広範囲にわたる工事 ① その他 理由: ※上記の対応事項に1つ以上し点がつけば6点の加点とする。	(④、について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 (⑤、について) ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた	事。 ・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤	(⑧、について) ・緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。 (⑨、について) ・作業現場が広範囲に分布している工事。 (⑩、について) ・施工ヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。
			田厳しい自然・地盤条件への対応 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 徳 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 徳 峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 その他 ※上記の対応事項に1つ以上レ点がつけば4点の加点とする。	工事。 (⑪、について) ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた工事。 (⑫、について) ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。	業床の設置が制限される工事。もしくは、命網を使用する必要があった 工事(法面工は除く)。 ・ 斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・ 土石流危険渓流に指定された区域内における工事 (④、について) ・ イヌワシ等の猛禽類などの貴重な	(億. について) ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事
	評価		IV長期工事における安全確保への対応 ⑥ 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く ※但し、文書注意に至らない事故は除く。 ⑦ その他() ※上記の対応事項に1つ以上レ点がつけば6点の加点とする。 評点:	()		
L		日十八八上の	 (はしま)	をおっ ナイをおっちゅうきョナクネに部件する		

※1 工事特性は、最大20点の加点評価とする。

※2 評価に当たっては、監督員、主任監督員等の意見も参考に評価する。

(担当課長)

[記入刀法] 部	&当9 る垻日の口にし	ノマークを記入する) ₀						
考查項目	細別			а	a'	b	b'	С	
6. 社会性等	 地域への貢献 		優相	れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	
	等		□ ② 現場事務所 □ ③ 定期的に加 □ ④ 道路清掃な ⑤ 地域が主他 ⑥ 災害時なさ □ ⑦ その他 理由	への配慮に積極的 所や作業現場の設 広報紙の配布や設 などを積極的に 態 惟するイベント/ どにおいて、地域	現場見学会等を実施して、 実施し、地域に貢献した。 へ積極的に参加し、地域と	積極的に地域とのコミュ	図った。	き。	
			●判断基準	68 4 TT T 10 1 1 1					
				が4項目以上・	=-				
			該当項目が	が3項目以上・	···· a'				
			該当項目な	が2項目以上・	b				
			該当項目な	が1項目以上・・	b'				
			該当項目な	がなし・・・・	· · · · · · · c				
	1	I	1						

下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。

考查項目 法令遵守等の該当項目一覧表 7. 法令遵守等 総合評価落札方式の工事 受注者の責により技術提案の評価した内容を満足する施工が行われない場合は、その1項目につき工事成績評定を10点減する措置を行 措置内容 措置点数 項目数 総合点数 該当する項目 1. 技術提案 っ。 (「理由」欄に履行されていない具体的内容及び「項目数」の欄に項目数を記入する) 技術提案 なお、平成25年6月30日以前の契約工事については「施工計画」を「技術提案」に読み替えることとする の口をチェッ -10点 クする。 理由(2. 受注者の責により〇〇〇を配置または使用する旨を誓約した場合において〇〇〇を配置または使用しなかった場合は工事成績評定を10点 2. 配置予定技術者 □ 評価項目名((「理由」欄に配置または使用されなかった○○○を記入する) -10占 3. 「配置技術者の変更(同等以上の技術者がいない場合)」について 評価項目名(同等以上の技術者がいない場合 -10古 ・配置技術者の変更において、同等以上の技術者がいない場合は、「2.配置予定技術者の能力」で評価する。 評価項目名(品質確保計画書②を実施した(文書注意2回以上)(入札参加資格を満たさない) ・評価においては、評価項目名に「同等以上の技術者がいない場合」と記入しの欄は必ず口の欄をチェックし10点減点する。 - 8点 理由 (・さらに、入札参加資格を満たさない場合の品質確保計画書②の実施において、文書注意2回以上行って実施した場合は、評価項目名に「吊管確保計画書②な実施した(文書注意2回以上)と記えし口の欄をチェックし8点減点する。 3. その他 □ 評価項目名(-10点 4. 1. ~3. により減点措置がない場合は、「4. 項目該当なし」をチェックする 5 総合評価落札方式対象工事でない場合は、「5 対象工事でない」をチェックする 理由(□ 4. 項目該当なし Ο 5. 対象工事ではない 0 滅占 点 総合評価落札方式以外の工事 措置内容 措置点数 項目数 総合点数 1. ・配置技術者の変更において、同等以上の技術者がいない場合に適用する。 1. 配置技術者の変更(同等以上の技術者がいない場合) ・評価においては、評価項目名に「同等以上の技術者がいない場合」と記入しの欄は必ず口の欄をチェックし10点減点する。 評価項目名(同等以上の技術者がいない場合 -10点 ・さらに、入札参加資格を満たさない場合の品質確保計画書②の実施において、文書注意2回以上行って実施した場合は、評価項目名に 「品質確保計画書②を実施した(文書注意2回以上)と記えし口の欄をチェックし8点減点する。 評価項目名(品質確保計画書②を実施した(文書注意2回以上)(入札参加資格を満たさない) - 8点 理由(滅占 点 ● 法令遵守事項等 措置点数 総合点数 【左記の表で評価する場合の適応事例】 措置内容 ●同じ措置が繰り返され検討を要する、又は、3回以上の措置があった場合必ずチェック。(総合点数を、必ず右の欄に直接入力すること。) 1. 入札前に提出した調査資料等が虚為であった事実が判明した。 ●1回目の措置について(下記の該当項目を1つ選択すること。該当がない場合、最下段の該当なしをチェックすること。) 2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。 □ 1. 指名停止3ヶ月以上 -20古 3. 宿舎環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された。 □ 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満 -15点 4. 廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 □ 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月末満 -13点 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。 □ 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満 -10点 6. 建設業法に違反する事実が判明した。 例) 一括下請け、技術者の専任違反等 □ 5. 文書注意相当 -8点 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。 □ 6. □頭注意相当 -5点 8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 □ 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、□頭 9. 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。 -3点 注意以上の処分がなかった場合。 10.下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を □ 8. 該当項目なし 0 を減じている。あるいはそれに類する行為がある。 ●2回目の措置あり(下記の該当項目を1つだけ選択すること、複数選択しない。1回目を必ず選択しておくこと。) 11.過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 12 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎 □ 1. 指名停止3ヶ月以上 -20点 □ 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満 -15点 弟等、暴力団関係者がいることが判明した。 -13点 13.下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防 □ 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満 □ 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満 -10占 育シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行って □ 5. 文書注意相当 -8点 いる事実が判明した。 □ 6. □頭注意相当 -5点 14.安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害 □ 7. 不問 - 3点 15. 施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督職員から文書注意等による改善指示を行ったが、これに従わなかった。 ① 本証価値目(7 法会遵守等)で証価する事例は 「丁事の施工にあたり、丁事関係者が右記の適応事例でト表の措置があった」場合に適用する 16.その他 ② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。 理由 ③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために

(検査職員)

			り口にレマークを記	1人9る。		T			_		
考查	項目	細別			a		b		С	d	е
					優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
2. 旅	五状況	I. 施工管理		■ □ ■ □	「評価対象項目」 ① 契約書第18条第1項第1 ② 施工計画書が工事着手前にる。	号〜5号に基づく設計図書の照 提出され、所定の項目が記載さ	景査を行っていることが確認できる されているとともに、設計図書のP	3。 2容及び現場条件を反映したもの	となっていることが確認でき	□ 施工管理について、監督 職員が文書による改善指 示を行った。	□ 施工管理について、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
			当面運用しない		③ 工事期間を通じて、施工計 ・ 現場条件又は計画内容に変 ・ 工事材料の品質に影響が無 ・ 立会確認の手続きを事前に ・ 建設副産物の再利用等への ・ 施工体制台帳及び施工体系 ・ 下請に対する引き取り(完 ・ 品質証明体制が確立され、 ・ 工事の関係書類を不足なく ・ 社内の管理基準に基づき管 施工環境監理者の活用工事 ・ 漁場工事) ・ その他 ・ 理由:	更が生じた場合は、その都度当いよう工事材料を保管していることが確認できる。取り組みを行っていることが確認できる。取り組みを行っていることが確図を法令等に沿った内容で適確成、検査を書面で実施していることが確認で整理していることが確認できる。において、施工環境監理者の扱	推認できる。 住に整備していることが確認できる。 3ことが確認できる。 出来形、品質等の確認を工事全般に できる。 記案、指導に基づき、周辺海域のE できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	出していることが確認できる。 5。 こわたって行っていることが確認 自然環境や水生生物の生育環境に 5、対象項目は左の口にチェック	配慮した施工を行っている。 - 7を記入する。		

給杏職員 考查項日 細別 丁種 b' □出来形の測定が、必要な測定項目に 🔲 出来形の測定が、必要な測 🖂 出来形の測定が、必要な測定 🖂 出来形の測定が、必要な測定 🖂 出来形の測定が、必要な測定 🖂 出来形の測定方法又は測定 ついて所定の測定基準に基づき行われ | 定項目について所定の測定基 | 項目について所定の測定基準に | 項目について所定の測定基準に | 項目について所定の測定基準に 値が不適切であったため、監 値が不適切であったため、検 ており、測定値が規格値を満足し、そ | 準に基づき行われており、測 | 基づき行われており、測定値が |基づき行われており、測定値が |基づき行われており、測定値が | 督職員が文書で指示を行い改 査職員が修補指示を行った。 3. 出来形 I. 出来形 十木丁事 のばらつきが規格値の概ね50%以内 | 定値が規格値を満足し、その | 規格値を満足し、そのばらつき | 規格値を満足し、そのばらつき | 規格値を満足し、そのばらつき | 規格値を満足し、そのばらつき | 善された。 引渡し後、瑕疵担保期間中 及び出来ば で、下記の「評定対象項目」の4項目 ばらつきが規格値の概ね5 が規格値の概ね80%以内で、 が規格値の概ね80%以内で、 当しない。 こ事故等により瑕疵が判明し 以上が該当する。 ○%以内で、下記の「評定対 | 下記の「評定対象項目」の3項 | 下記の「評定対象項目」の2項 象項目」の3項目以上が該当 目以上が該当する。 日以上が該当する。 「評価対象項目」 ① 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 П 2 対内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 ③ 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 ④ 写直管理基準の管理項目を満足している。 ばらつきの評価 П ⑤ 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 □ ばらつきが50%以内 П ⑥ その他 □ ばらつきが80%以内 理由: □ 規格値を満足し、a~b'に該当しない。 ●判断基準 ばらつきで判断可能 評価項目の該当数 管理項目 ① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。 50%以下 80%以下 a~ b 'に該 を設定し ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 4項目以上 а 当しない ていない ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定 3項目以上 a' b の出来形を確保する管理体系である。 2項目以上 b' ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照 d 優れている bより優れている やや優れている cより優れている 他の評価に該当しない やや劣っている 劣っている □ 出来形の測定方法又は測 ↑ 出来形の測定方法又は測定 機械設備工事 「評価対象項目」 定値が不適切であったた 値が不適切であったため、 ※上記欄によら □□ ① 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 め、監督職員が文書で指 検査職員が修補指示を行っ ず、当該欄で評 □□ ② 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 示を行い改善された。 □□ ③ 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 引渡し後、瑕疵担保期間 中に事故等により瑕疵が判 🛛 🗎 4 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 明した。 □□ ⑤ 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 □□ ⑥ 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 □□ ⑦ 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 □□ ⑧ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 □□ 9 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 🔲 🗎 🕦 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。 □□ ⑪ その他 理由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・ a ① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。 評価値が80%以上90%未満・・ a' ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値が70%以上80%未満・・ b ③ 評価値(%)=該当項目数(O)/評価対象項目数(O) ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 評価値が60%以上70%未満・・ b' 評価値が60%未満・・・・・ c

(検査職員)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形 及び出来ば え	I. 出来形	電気設備工事 通信設備工事・ 受変電設備工事	「評価対象項目」	見が、その都度管理図表などに言 E満足している。	が受ける。 ジャップ フィー ジャップ ディー ジャップ ディー ジャップ ディー デ	していることが確認できる。 とが確認できる。		□ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	□ 出来形の測定方法又は測定 値が不適切であったため、 検査職員が修補指示を行っ た。 引渡し後、瑕疵担保期間 中に事故等により瑕疵が判
		※上記欄によら す、当該欄で評 価	□□ 4 不可視部分の出来形が写真□□ 5 設計図書で定められている□□ 6 設備全般にわたり、形状、□□ 7 設備の据付、固定方法が、□□ 8 配管及び配線が設計図書3□□ 9 行先などを表示した名札が□□ 10 配管及び配線の支持間隔へ□□ 10 社内の管理基準に基づき電□□ 12 その他理由:	駅の出来形管理項目について、蟹 寸法の実測値が許容範囲内でま 設計図書又は承諾図書のとおり 又は承諾図書通り敷設しているこ が、ケーブルなどに分かり易く 動 動縁抵抗等について、設計図書	5ることが確認できる。)施工していることが確認できる。 ことが確認できる。 &固に取り付けている。 書の仕様を満足していることが確				明した。
			●判断基準 評価値が90%以上・・ 評価値が80%以上909 評価値が70%以上809 評価値が60%以上709 評価値が60%未満・・	6未満・・ a' 6未満・・ b 6未満・・ b'	② 評価項目数を母数として、③ 評価値(%)=該当項目数	ち、対象項目は左の口にチェック 比率(%)計算の値で評価する。 (O) /評価対象項目数(O) 項目以下の場合は c 評価とする。	を記入する。		

										(検査職員 <i>)</i>
考査項目	細別	工種	<a>	а	a'	b	p,	С	d	е
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形						が状況(評価値)から判断する	。<判断基準参照>		□品質関係の測定方法又は	□品質関係の測定方法又は
及び出来ば え					「管理基準、その他設計図書	に定められた試験]			測定値が不適切であった	測定値が不適切であった
7.				※ ばらつきの判断は別細	1-5参照。				ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	ため、検査職員が修補指 示を行った。
	Ⅱ. 品質	多工種複合工事							10/12/11/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/	引渡し後、瑕疵担保期
				該当工種	各工種の評価値(%)	_				間中に事故等により瑕疵
										が判明した。
						J				
					多工種工事の評価値					
						※各工種の単純平均				
				※各工種毎(最大3工種)	の評価値を算出する	_				
				• World to the						
				●判断基準✓ A > 対象エ東がげらつき	による評価が不適切な工事()	分世士 即博し工学)	1			
				ベイン 対象工事がはらりる	による計画が小値的な工事()	変味工、 収壊し工寺/				
				評価値が90%以上・・・	а					
				評価値が80%以上90%						
				評価値が70%以上80%	未満・・ b					
				評価値が60%以上70%						
				評価値が60%未満・・・						
				なお、削除後の評価対象項	目数が2項目以下の場合はci	平価とする。				
				 対象工事がばらつき	きによる評価が適切な工事					
								ばらつきで判断可能		
					て、比率(%)計算の値で			50%以下 80%以下 80		
					核当項目数()/評価対: 頁目以下の場合は C評価と:		90%以上	a a'		ばらつきの評価
				◎評圖別家項目数/0.2項	食自以下の場合は し評価と	9 0.	価 7 5 %以上 9 0 %未清	-		」 ばらつきが50%以下
							値 60%以上75%未満	b b'		〕 ばらつきが80%以下 〕 ばらつきが80%を越える
							00/0木间	В		
老本花口	細別	工種		a		b		С	d	
考査項目	和田万山	工俚		優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
					n					
3. 出来形 及び出来ば	Ⅲ. 出来ばえ	多工種複合工事	_	・選定工種	・各工種の考査項目		7	●判断基準		
え				1			1	該当項目が4項目以上・・・・		
,,				2			1	該当項目が3項目・・・・・		
				3			1	該当項目が2項目・・・・・		
				4			1	該当項目が1項目以下・・・・	· · d	
				5]			
					※ 該当上種の王となる考査項	目から評価を行う。ただし、評価	対 取り は 取り は 取り は に な な な は な な な な な な			
				●老杏頂日運用売を	下記から必ず選択する	3. <i>(</i> チェックし、丁車6	X績採点表に反映させる。)		
			コンクリ	リート構造物工事		トンネル工事		, 管水路工事		
			土工事	(切土、盛土、堤防等工事)		植栽工事		港湾工事(浚渫・海岸築造工事	を含む)	
			護岸・村	艮固・水制工事				建築工事(土木関連)		
				_		電線共同溝工事(管路布設段				
			鋼橋工	F		階)		下水道工事		
				告物工事及び地滑り防止工事(集		維持工事		コンクリート二次製品構造物		
			舗装工			修繕工事		浚渫工事		
			法面工	₽ L事(地盤改良含)		機械設備工事(土木) 電気設備工事		漁場工事(魚礁) 漁場工事(着定基質)		
			海岸工			通信設備受変電設備等工事		漁場工事(有足歴員) その他の工事合併工事		
			コンク	Jート橋上部工事(PC,RC)		ため池工事				
			塗装工	E	П	は場整備工				

												(検査職員)
考査項目	細別	工種	а	a'	b	b'		С		d		е
3. 出来形 及び出来ば え				工管理基準、その他設計図書に	F状況(評価値)から判断する。 こ定められた試験]	。<判断基準参照>				コ 品質関係の源 測定値が不過 ため、監督駅 指示を行いる	適切であった 載員が文書で	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期
	I. 品質	コンクリート構造 物工事	「評価対象項目」 ロロ ① コンクリートの配合試験 が確認できる。)骨材反応抑	制等が)			間中に事故等により瑕疵が判明した。
			ロロ ② コンクリート受け入れ時				00					
			□□ ③ 圧縮強度試験に使用した									
			□□ ④ 施工条件や気象条件に適 (寒中及び暑中コンクリ		高さ及び締固め方法が、 定め	られた条件を満足してい	ることが確認て	できる。				
			□□ ⑤ コンクリートの圧縮強度	を管理し、必要な強度に達し	た後に型枠及び支保工の取り	外しを行っていることが	確認できる。					
			□□ ⑥ コンクリートの打設前に	、打継ぎ目処理を適切に行っ	ていることが確認できる。							
			□□ ⑦ 鉄筋の品質が、証明書類									
			□□ 8 コンクリート打設までに		が鉄筋に付着しないよう管理し	ていることが確認できる) ₀					
			□□ 9 鉄筋の組立及び加工が、									
			□□ ⑩ 圧接作業にあたり、作業					ばらつき	きの評価 らつきが50	NO INT		
			□□ ⑪ コンクリートの養生が、						らつきが50 らつきが80			
			ロロ ⑫ スペーサーの品質及び個							0%を越える		
			ロロ ⑬ 有害なクラックが無い。					□ ば	うつきで判断	所不可能		
			□□ (14) その他			●判断基準						
			理由:					ば	らつきで判断	可能	ばらつきで	
						_		50%以下	80%以下	80%を越える	判断不可能	
						90%	以上	a	a '	b	b	
			①当該「評価対象項目」のうち。 ②評価対象項目数を母数として			評 75%」	以上90%未満	a '	b	Ъ'	b '	
			③評価値(%)=該当項目				以上75%未満	b	Ъ'	С	С	
			④なお、評価対象項目数が2項			6 0 % 5	1-10-4	b '	С	С	С	
							果の打点数等がら だけで判断する。	少なくばらつき	きの判断がで	きない場合は評	価対象項目	
1		i e										i

考査項目	細別	工種	a		b		C	d	
			優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え		コンクリート構造 物工事	「評価対象項目」 ① コンクリート構造物の表 ② コンクリート構造物の通 ③ 天端仕上げ、端部仕上げ。 ④ クラックが無い。 ⑤ 漏水が無い。 ⑥ 全体的な美観が良い。	りが良い。		●判断基準 該当項目が5項目以上・・・・ 該当項目が4項目 ・・・・ 該当項目が3項目 ・・・・ 該当項目が2項目以下・・・・	· · b · · c		

													(検査職員)
考查項目	細別	工種		а	a'	b	b		С		d		е
3. 出来形 及び出来ば え			[関連基準		管理基準、その他設計図書	- 大沢(評価値)から判断する。 に定められた試験]	<判断基準参照	₹>		定値め、	関係の測定方法 が不適切であっ 監督職員が文書 い改善された。	たた	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。
	I. 品質	土工事 (盛土、 堤防等工事)	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	E設計図書に基づきかの掘削を行うが設計図書に定めらいまき出し厚きなび種子吹付を設計 調辺の締固めを設計 可辺の締固めを設計の土質が設計図書を式験などの品質管理 まな電裂が無い。	を行っていることが確認できた。 無削面以下を乱られた条件を満足していることが確認できていることが確認では書に定められた条件で行きまに定められた条件で行き満足していることが確認で	さないように施工していることことが確認できる。 できる。 うっていることが確認できる。 うっていることが確認できる。 できる。 ることが確認できる。	<u> </u>	6つきの評価 ばらつきが50%以下 ばらつきが80%以下 ばらつきが80%を越える ばらつきで判断不可能	3				引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。
				1:				●判断基準					
										っつきで判断	可能	ばらつき	
									50%以下	80%以下	80%を越える	判断不可	能
								90%以上	a	a'	b	b	
					」のうち、対象項目は左の「			価 75%以上90%未満	a '	b	b '	ь'	
			(2) 184 (1) (3) 184 (1)		数として、比率(%)計算(該当項目数()/評価?			値 60%以上75%未満 60%未満	b	b ′	С	С	
					数が2項目以下の場合は (注 試験結果の打点数等が (評価値) だけで判断する		の判断ができ	c きない場合は評	c 価対象項	3

考査項目	細別	工種	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ.出来ばえ	土工事(盛土、堤防等工事)	「評価対象項目」 ① 仕上げが良い。 ② 通りが良い。 ③ 天端及び端部の仕上げが良 ④ 構造物へのすりつけなどか ⑤ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・ 該当項目が3項目 ・・・ 該当項目が2項目 ・・・ 該当項目が1項目以下・・・・	· · b	

					3直头口加定/63							(検査職員)
考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'		С			d	е
3. 出来形 及び出来ば え				E管理基準、その他設計図書は	F状況(評価値)から判断する。 こ定められた試験]	<判断基準参照>				一 定値が不適)測定方法又は測 切であったた 議員が文書で指示 きされた。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。
	Ⅱ. 品質	土工事(切土)	「評価対象項目」	ないように、排水対策を実施)に有害な亀裂が発生しない し、適切に使用されているこ 視しているのが確認できる。 ている。 切に行われている。)よう丁寧に施工していることだ ことが確認できる。	●判断基 図	%以上 %以上90%未満 %以上75%未満 %末端 結果の打点数等が少)だけで判断する。 つにチェックを記入 平価する。 対象項目数())	%以下 %を越える 不可能 ばら 50%以下 a a' b b')かくばらつき	a ' b b' c	80%を越える b b' c c	ばらつきで 判断不可能 b b' c c d m対象項目	引渡し後、瑕疵担保期 間中に事故等により瑕疵 が判明した。

考査項目	細別	工種	a management		b	C	d hhda zuz	
			優れている		やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ばえ	土工事(切土)	「評価対象項目」 ① 規定された勾配が確保さ ② 切土法面の施工にあたっ		れているなど、適切に施工されている。	●判断基準 該当項目が5項目以上・・・・ 該当項目が4項目 ・・・・		
				損傷が発生しないよう処理が	が行われている。	該当項目が3項目・・・・ 該当項目が2項目以下・・・・	· ·	
			⑤ 関係構造物等との取り合 ⑥ 全体的な美観が良い。	いが設計図書を満足するよう	う施工されている。			

												/
考查項目	細別	工種	a	a'	b	b'	С		d		е	
3. 出来形 及び出来ば え				管理基準、その他設計図書	5状況(評価値)から判断する。 に定められた試験]	<判断基準参照>			□ 品質関係の測定値が不適 測定値が不適 ため、監督崩 指示を行い改	切であった 貴が文書で	□ 品質関係の測定方法又 測定値が不適切であっ ため、検査職員が修補 示を行った。 引渡し後、瑕疵担保規	った 輔指
	Ⅱ. 品質	護岸・根周・水	「評価対象項目」								間中に事故等により瑕	
	1. 00,-	制工	ロロ ① 施工基面を平滑に仕上げる	いることが確認できる。							が判明した。	
					Eじないよう十分に行っているこ	とが確認できる。						
					がける材料のかみ合わせ又は連絡		よう行っていることか	「確認できる。	0			
			口口 ④ 石積(張)工において、カ	大きさ及び重さが設計図書の	D仕様を満足していることが確認	できる。						
					触度及び水密性を確保している?							
					が設計図書の仕様を満足している							
					†図書の仕様を満足していること							
					D連結及びかみ合わせが設計図書	の仕様を満足していること	が確認できる。					
			□□ 9 指定材料の品質が、証明記									
			□□ ⑩ 基礎工において、掘り過ぎ					きの評価 らつきが5(20/ N.T.			
			□□ ⑪ コンクリートプロック等を	E損傷無く設置していること	こが確認できる。			らつきが8(
				fの湧水及び滞水等は、排除	余して施工していることが確認で	きる。			0%を越える			
			□□ ⁽³⁾ 埋戻し材料について、設計	†図書の仕様を満足している	ることが確認できる。		□ば	らつきで判断	断不可能			
			□□ ⑭ 有害なクラックが無い。				判断基準					
			□□ ⑮ その他				1191227		ばらつきで判断す	 T能	ばらつきで	
			理由:					50%以下		80%を越える	判断不可能	
							90%以上	a	a '	b	b	
			①光輔文 □Ⅲ冊	対免項目 のろな 対免項	目は左の口にチェックを記入す		75%以上90%未清	i a'	b	ь'	b '	
				利象項目] のうろ、利象項 目数を母数として、比率(つ。 I	60%以上75%未清	lj b	b '	С	С	
			③評価値(%)=該当項目数("	60%未満	b '	С	С	С	
			④なお、評価	対象項目数が2項目以下の	場合は C評価とする。		試験結果の打点数等が		つきの判断ができ	ない場合は評	価対象項目	
							(評価値) だけで判断する	5.				
											1	
											1	

考査項目	細別	工種		a	b		c	d	
与直坝日	עכ/שיה	工性		優れている	やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 j 及び出来ば え	Ⅲ.出来ばえ	護岸・根固・水制工	0000	「評価対象項目」 ① 通りが良い。 ② 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。 ③ 天端及び端部の仕上げが良い。 ④ 既設構造物とのすりつけが良い。 ⑤ 全体的な筆観が良い。		●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・ 該当項目が3項目 該当項目が2項目 該当項目が1項目以下・・・・	• b • c		

					5直头口:5)是/11公							(検査職員
考査項目	細別	工種	a	a'	Ь	b'		C		d		<u> </u>
3. 出来形 えび出来ば え	W4333	entre Lake	品質関係の試験結果のばら [関連基準、土木工事施工	らつきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定	ス(評価値)から判断する。<判				測定値ため、	関係の測定方法 直が不適切であ 監督職員がな を行い改善され	あった 文書で たまで れた。	品質関係の測定方法又 制定値が不適切であっ とめ、検査職員が修補 示を行った。 引渡し後、瑕疵担保集
	I. 品質	鋼橋工事 (RC床版工事 はコンクリート 構造物に準じ る)	□□ ② 溶接作業にあたり、作業員 □□ ③ 溶接作業にあたり、溶接 □□ ④ 溶接施工に係る施工計画員 □□ ⑤ 孔空けによって生じたま、□□ ⑥ 欠陥部の発生が見られなし □□ ⑦ 塗装作業にあたり、塗布 □□ ◎ 素地調整を行う場合、第□□ ⑨ 塗料の空缶管理について、	明する書類又は現物により照合 員の技量確認を行っていることが 材料の使用区分が設計図書の仕 書を提出していることが確認でき くれが削り取られているなど、ま いことが確認できる。 面を十分に乾燥させて施工して 1種ケレン後4時間以内に金属能 写真等で確実に空であることが	が確認できる。 様を満足していることが確認でき きる。 きめ細やかに製作していることが いることが確認できる。 前処理塗装を実施していることが	確認できる。 確認できる。 ②評 ②評 ③ 3 評	西対象項1 西値(□ ばらつきか	(50%以下 (80%以下 (80%を越 判断不可能 上 取項目は左の (%)計算 (%)計算	える D口にチェック の値で評価す 面対象項目数	間 か フを記入する する ()	引中に事故等によりま が判明した。
			□□ ② ボルトの締付機及び測定権	され、記録を保管していることだ 機器のキャリブレーションを実施	施していることが確認できる。		•	判断基準				
			□□ ③ 高力ボルトの締め付けを、 □□ ④ 高力ボルトの品質が、証明	, 中心から外側に向かって行って 明書類で確認できる。	ていることが確認できる。				は 50%以下	(らつきで判断) 80%以下	可能 8 0 %を越える	ばらつきで 判断不可能
					面に水切勾配がついていることが	確認できる。		90%以上	a	а,	b	b
			□□ ⑥ 架設にあたって、部材のハ				評	75%以上90%未満	a '	b	b '	b '
					が確保できる規模及び強度を有し	て確認していることが確認でき	きる。 値	60%以上75%未満	b	b '	С	С
			□□ 8 現場塗装部のケレン及び □□ 9 現場塗装において、温度、 □□ 10 その他 理由:			60%未満 試験結果の打点数等がな 評価値)だけで判断する。	b' 少なくばらつ	┃ c きの判断ができ	c *ない場合はi	評価対象項目		
						=						

考査項目	細別	工種	а	b		С	đ	
与且项目	ניכ/ שיוו	工程	優れている	やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え		鋼橋工事 (RC床版工事 はコンクリート 構造物に準じ る)	「評価対象項目」 ① 表面に補修箇所が無い。 ② 部材表面に傷及び錆が無い。 ③ 溶接に均一性がある。 ④ 塗装に均一性がある。 ⑤ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・ 該当項目が3項目・・・・ 該当項目が2項目・・・・ 該当項目が1項目以下・・・・	· · b		

					5直头口加足/13						(検査職員)
考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'		С	d		е
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	砂防・治山構造物	品質関係の試験結果のばら	管理基準、その他設計図書に定成した。 はい試験練りを行っており、品質 必要な試験を実施しており、温質 必要な試験を実施しており、過 さいとのは、一方の機和 カーンクリート等を含む。 管理しており、必要な強度に はに行っていることが確認できる。 は、どろ、油等の有害物が、鉄部 はいることが確認できる。 は計図書の仕様を満足していることが はいることが確認していることが はいることが	兄 (評価値) から判断する。 <判められた試験] は(強度・W/c、最大骨材粒径、) 温度、スランプ、空気量等の測定 易の供試体であることが確認でき 重及び養生方法が、 施工条件及び 達した後に型枠及び支保工の取り る。 防に付着しないよう管理している ことが確認できる。 が確認できる。	断基準参照> 塩化物総量、単位が結果が確認できる。 ぶる。 外しを行っている。 ことが確認できる。 ことが確認できる。 ためできる。 ののできる。 ことが確認できる。	*量、アルカリ骨が おり、 定められが が、 定められが が、 定められが がでいる。 の口にする。 で評象ででででででででででででででです。	材反応抑制等)が確認できる。 を条件を満足していることが確 ばらつきの評価 ばらつきが8 はらつきが8 はらつうきが8 はらつきが8 はらった。 まとりの%未満 a ' と75%未満 b b ' の打点数等が少なくばらつきの ナで判断する。	□ 品質関係の測定方 測定値が不適切で ため、監督職員が 指示を行い改善さ 10%以下 30%を越える 断不可能 0%以下 80%を越える b b b' b' c c	だ文書で、 が文書で、 が文れた。	□ 品質関係の測定方法のは 測定方法の 調度値検査 動度値検査 が表する。 場際し後、 環により 環により 現に が判明した。
考查項目	細別	工種	a		b			С	d		
ラ旦坝日	N-M /3-V	上俚	優れている	<u> </u>	やや優れている	1		他の評価に該当しない	やや劣っている	3	-
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ.出来ばえ	砂防・治山構造 物工事	「評価対象項目」 ① コンクリート構造物の表面の ② コンクリート構造物の通の ③ 天端仕上げ、端部仕上げ等 ④ クラックが無い。 ⑤ 粛水が無い。 ⑥ 全体的広羊観が良い。	が良い。		●判断基準 該当項目が5項目 該当項目が4項目 該当項目が3項目 該当項目が2項目 該当項目が2項目		· b			

					5直头口/5/座/13						(検査職)
考查項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c			d	е	
3. 出来形 及び出来ば え	I. 品質	地すべり防止工 事 (集水井工事 含)		管理基準、その他設計図書に定	元(評価値)から判断する。 <半 められた試験)	断基準参照			測定値が ² ため、監督	の測定方法又は 不適切であった	□ 品質関係の測定 別定値が不適値 形を使した。 引性に多いである。 引性に多いである。 引性に多いである。 引性に多いである。 が判明した。	であった が修補指 庇担保期
		67	□□ ② コンクリート受け入れ時に □□ ③ 圧縮強度試験に使用したコ □□ ④ 運搬時間、打設時の投入高 □□ ⑤ コンクリートの圧縮強度を □□ ⑥ 地山との取り合わせを適切 □□ ⑦ 鉄筋及び鍋材の品質が、証 □□ ⑧ 有害なクラックが無い。 □□ ⑨ アンカーの施工が、設計図	ンクリート供試体が、当該現 管理しており、必要な強度に に行っていることが確認できる 明書類で確認できる。	易の供試体であることが確認でき をした後に型枠及び支保工の取り る。	5 3.	●判断基準			」 ばらつきで	30%以下 30%を越える	
			□□ (0) ライナーブレートの組み立 □□ (1) ライナーブレートと地山と □□ (2) 集・排水ボーリングエの方 □□ (3) その他 理由:	てにあたり、偏心と歪みに配成の隙間が少なくなるように施_	튛して施工していることが確認で □していることが確認できる。		5	0%以下 a a' b	80%以下 a' b b'		b b' c	
			- Æm ·		① 当該「評価対象項目」の ② 評価項目数を母数として、 ③ 評価値(%)=該当項 ④なお、評価対象項目数が2	比率(%)計算の値で評価 目数 () /評価対象1	注 試験結果の打点数等が少な (評価値) だけで判断する。 チェックを記入する。 する。 頁目数()	i	きの判断ができ	さない場合は評価		

考査項目	細別	工種	а		b		c	d	
与且项目	הכלשיו	工程	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え		地すべり防止工 事(集水井工事 含)	「評価対象項目」 ① 地山との取り合いが良い。 ② 天端、端部の仕上げが良い。 ③ 施工管理記録などから不可 ④ 全体的な美観が良い。	, 視部分の出来ばえの良さが伺え	ర ం	該当項目が1項目	 · b		

									(検査職員)
考査項目	細別	工種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形 及び出来ば え	細別 II. 品質	舗装工事	品質関係の試験結果のは、	6つきと評価対象項目の履行状法 管理基準、その他設計図書に定 紙一5参照。 検方法でCBR値を測定している フローリングを行っていることが 理が、設計図書の仕様を満足していることが、設計図書の仕をを満足していることが 均一になるよう施工していることが 均一になるよう施工していることが 均一になるよう施工していることが 均一になるよう施工していることが 均一になるよう施工していることが がの隣接箇所や狭い箇所における 無力 、配合設計及び試験練りの結 、上層路盤面の浮き石などの有 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ス(評価値)から判断する。 <判態 かられた試験	が基準参照> Nることが確認できる。 Nることが確認できる。 Nることが確認できる。 が機械により施工していることが により確認できる。		•	
			□□ ③ ブラント出荷時、現場到 □□ ④ 舗設後の交通開放が、定 □□ ⑤ 各層の継ぎ目の位置が、 □□ ⑥ 縦継目及び横継目の位置が、 □□ ⑦ アスファルト混合物の運 □□ ③ 密度管理が設計図書の仕4 □□ ⑨ その他 理由:	められた条件を満足しているこの 設計図書に定められた数値以上 構造物との接合面の処理等が、 般及び舗設にあたって、気象条(とが確認できる。 であることが確認できる。 設計図書の仕様を満足している。 牛を配慮していることが確認できる。	ことが確認できる。	ばらつきの評価 □ ばらつきが5 □ はらつきが8 □ はらつきが8	30%以下 30%を越える	
			【コンクリート舗装工関 □□ ① コンクリートの配合試験 骨材反応抑制等)が確認 □□ ② 舗装工の施工に先だって、□□ ③ コンクリート受け入れ時 □□ ④ 圧縮強度試験に使用した: □□ ⑤ 連搬時間、打設方法及び養 □□ ⑥ 材料が分離しないようコ: □□ ⑥ その他	及び試験練りを行っており、コンできる。 ・上層路盤面の浮き石等の有害もこ必要な試験を実施しており、。 コンクリート供試体が当該現場 生方法が、施工条件及び気象条 ンクリートを敷均していることが	物を除去してから施工していること 温度、スランプ、空気量等の測定総 別供試体であることが確認できる。 3件に適しており、設計図書に定め が確認できる。	こが確認できる。 吉果が確認できる。			
			理由:					ばらつきで判断可	「能 ばらつきで
							-	50%以下 80%以下	80%を越える 判断不可能
			②評価対象項目数を母数と ③評価値(%)=該当	0)うち、対象項目は左の口にき として、比率(%)計算の値で 1項目数()/評価対象項 が2項目以下の場合は C評価	ご評価する。 頁目数()		90%以上 75%以上90%末値 60%以上75%末 60%未満 注 試験結果の打点数等 (評価値) だけで判断す	b b' b' c word c	b b b' b' c c c c c c c c c c c c
							(和	w 0	<u> </u>

考査項目	細別	工種	a	b		С	d	
与且項日	עכשה	工俚	優れている	やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	I. 出来ばえ	舗装工事	「評価対象項目」 ① 舗装の平坦性が良い。 ② 構造物の通りが良い。 ③ 端部処理が良い。 ④ 構造物へのすりつけ等が良い。 ⑤ 雨水処理が良い。 ⑥ 全体的な美観が良い。		該当項目が5項目以上・・・・ 該当項目が4項目 ・・・・ 該当項目が3項目 ・・・・ 該当項目が2項目以下・・・・	· · b		

			5旦头口加定/15			(検査職員)
考査項目	細別	工種	a a' b	b' c	d	е
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	法面工事	□ 日間 日本	(1) 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左 (2) 評価体格 (2) ・	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不過過切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。 ○%以下 ○%と越表る 断不可能 ○で評価とする。 ○でで評価とする。 ○でで理価とする。 ○でで理価とする。 ○でで理価とする。 ○でで理価とする。 ○でで理価とする。 ○でで理価とする。 ○でで理価とする。	□ 品質関係の通常であった。 図測定値が不適時のが修補指 示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期 間中に事故等により瑕疵が判明した。
考査項目	細別	工種	a b 使れている やや優れている	C 他の評価に該当しない	d やや劣っている	
				●判断基準	6627 CA19	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	法面工事	① 通りが良い。 ② 植生、吹付等の状態が均一である。	該当項目が3項目以上・・・・・ a 該当項目が2項目 ・・・・・ b 該当項目が1項目 ・・・・・ c 該当項目なし ・・・・・ d		

					う旦択ロ川圧巾奴							(検査職員)
考査項目	細別	工種	a	a'	b	k) '	С		d		e
3. 出来形 及び出来ば え				管理基準、その他設計図書に定	兄(評価値)から判断する。 <半 められた試験]	断基準参照>				品質関係の測測定値が不適 ため、監督暗 指示を行い改	切であった 関員が文書で	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期
	Ⅱ. 品質	基礎工事及び地盤改良工事基礎工事及び地盤改良工事を設定します。	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	議及び場所打杭の施工管理の方法を損傷していないことが確認 図書を満足していることが確認 設計図書の仕様を満足している。 が、掘削深さ、掘削土砂等に、 に一管をコンクリート内に2ml の水位の変動及び安定液を用いる びコンクリート打設等が、設配 でにあたり、偏心と歪みた配 に記録により確認できる。	法が整備されており、その記録をできる。 認できる。 ることが確認できる。 より確認できる。 より確認できる。 以上挿入して施エしていることか る場合の孔内の安定液濃度並びに 計図書の仕様を満足していること	が確認できる。 に比重等が、設計® が確認できる。 できる。	図書を満足していることが	ばらつき ロ ばら	つきが509 つきが809	%以下		間でしまな等により瑕疵が判明した。
			【地盤改良関係】 □□ (1) 改良材のバッチ管理記録が □□ (5) セメントミルクの比重、スコロ (6) 事前に土質試験を実施し、	スラリー噴出量、強度等の管理	資料を整理していることが確認て		●判断基準		うつきが80%			
					及び支持力を確保していることか		刊列至中	ば	」 らつきで判断	可能	ばらつきで	
			理由:					50%以下	80%以下	80%を越える	判断不可能	
						<u> </u>	90%以上	a	а'	b	b	
			①当該「評価対象項目」のう	ち. 対象項目は左の口にチェ	- ックを記入する.		75%以上90%未満		b	b '	b '	
			②評価対象項目数を母数とし	て、比率(%)計算の値で評	呼価する。		値 60%以上75%未満 60%未満	b,	D	c	c	
			③評価値(%)=該当項 ④なお、評価対象項目数が2:	目数 () /評価対象項目 項目以下の場合は C評価と			主 試験結果の打点数等が (評価値) だけで判断する	ぶ少なくばらつる	Ü	きない場合は評	7価対象項目	

考查項目	細別	工種	a 優れている		b やや優れている		c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	基礎工事及び 地盤改良工事基 礎工事及び 地盤改良工事	「評価対象項目」 ① 土工関係の仕上げが良い。 ② 通りが良い。 ③ 端部及び天端の仕上げが良 ・ 施工管理記録などから不可が、 ※地盤改良は、評価とする。	視部分の出来ばえの良さが伺え	ర ం	該当項目が1項目・・・	a b c		

					与直项日则建用农						(
考査項目	細別	工種	a	a'	b	p,	C	I	С	1	(検査職員) e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	海岸工事	品質関係の試験結果のばら	つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定る			<u> </u>		□ 品質関係の 測定値が不 ため、監督	•	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった だめ、検査購員が修補指 示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期 間中に事故等により瑕疵
			□□ ② 運搬、打設、締め固めが、 □□ ③ 圧縮強度試験に使用したコ □□ ④ コンクリートプロックの転 □□ ⑤ 転倒や崩壊等が無いようコ □□ ⑥ 捨石基礎の均し面を平坦に □□ ⑦ 工事期間中、1日1回は潮紅	気象条件に適しており、設計区 ンクリート供試体が当該現場の 置及び仮置にあたって、強度値 ンクリートブロックの仮置を行 仕上げていることが確認できる 位観測を実施して記録している。	fっていることが確認できる。 る。	確認できる。	ば □ ば □ ば	きの評価 らつきが50 らつきが80 らつきで判別	0%以下 0%を越える		が判明した。
			①当該「評価対象項目」のうち、 ②評価対象項目数を母数として、			90%以上	50%以下 a	らつきで判断 80%以下 a'		ばらつきで 判断不可能 b	
			③評価値(%)=該当項目割 ④なお、評価対象項目数が2項目	数()/評価対象項目数	t ()	75%以上90% 60%以上75% 60%未満	b b'	b b' c	b ' c c	c c	
						注 試験結果の打点数 (評価値)だけで判断	女等が少なくばらつき ffする。	きの判断がで	きない場合は評	·恤対象項目	

考査項目	細別	工種		а		b		С	d	
专直项目	和田万里	上 惶		優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ.出来ばえ	海岸工事	00000	「評価対象項目」 ① コンクリート構造物の表面 ② コンクリート構造物の通り ③ 天端仕上げ、端部仕上げ等 ④ クラックが無い。 ⑤ 漏水が無い。 ⑥ 全体的な美観が良い。	が良い。		●判断基準 該当項目が5項目以上・・・・ 該当項目が4項目 該当項目が3項目 該当項目が2項目以下・・・	· · b		

									(棒杏職員)
考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	С	d	e
考査項目 3. 出来形 及び出来ば え	細別工、品質	工種 コンクリート橋 上部工事 (PC及びRC を対象)	品質関係の試験結果のばら 「関連基準、土木工事施工管 ※ ばらつきの判断は別組 「評価対象項目」 (共 通) ① コンクリートの配合試験及 骨材反応抑制等)が確認で ② コンクリート受け入れ時に ○ ② コンクリートの日報強度で使用したコ ② 施工条件や気象条件に適 ○ ○ ⑤ 鉄筋の品質が、証明書類で ○ ○ ⑥ 鉄筋の引張強度及び曲げ強 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	つきと評価対象項目の履行状況 管理基準、その他設計図書に定る (1-5参照。 び試験練りを行っており、コンク きる。 必要な試験を実施しており、温 ンクリートの供試体が、当該現 管理して、必要な強度に違した 確認できる。 度の試験値が、設計図書の仕様 び、どろ、油等の有害物が鉄筋 の技量確認を行っていることか	で、評価値)から判断する。 くまかられた試験] クリートの品質(強度・W/c、温度、スランプ、空気量等の測 混場の供試体であることが確認 を後に型枠及び支保工の取り外 を満足していることが確認で ででする。	b'	。 一般では、アルカリ	d □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	(検査職員) ● □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補 示を行った。 弓渡し後、瑕疵担保期 間中に事故等により瑕疵 が判明した。
			②評価対象項目数を ③評価値(%)	計図書の仕様を満足しているこ が、設計図書に定められた条件 ション管理が、設計図書の仕様 ションで事事が、設計図書の仕様 ト注入管理値が、設計図書の仕 ンクリート圧縮強度が、設計図書の仕	とが確認できる。 を満足していることが確認で を満足していることが確認で していることが確認で していることが確認で を対していることが確認 の書の仕様を満足していることが におかれた供試体を用いてい の口にチェックを記入する。 のが象項目数() が対象項目数()	きる。 できる。 が確認できる。 ることが確認できる。	□ ばらつきで	8 O % 以下 8 O % を越える 判断不可能 削断可能	

考査項目	細別	工種		a		b		c	d	
为且供口	הכלשיו	工作		優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート橋上部工事(PC及びRCを対象)	ΙĒ	「評価対象項目」 ① コンクリート構造物の表 ② コンクリート構造物の通 ③ 天端及び端部の仕上げが。 ④ 支承部の仕上げが良い。 ⑤ クラックが無い。 ⑥ 全体的な美観が良い。	りが良い。		●判断基準 該当項目が5項目以上・・・・ 該当項目が4項目 該当項目が3項目 該当項目が2項目以下・・・・	• b		

					5旦央口加建/13							(検査職員)
老杏佰日	細別	丁種	а	a'	b	h'		C		d		e REING
考査項目 3. 出来形 及び出来ば え	細別 II. 品質		関連基準、土木工事施工 ※ ばらつきの判断は別細 「評価対象項目」	管理基準、その他設計図書 1-5参照。 面を十分に乾燥させて施工 いることが確認できる。 び湿度の測定を行い、塗装付 容器の塗料を均一な状態に、 等内、油類等度に空であるこの 等が無く塗装されているこの 分、構造の複雑な部分につい。 塗料成績表により、製造が 、対象項目は左の口にチェッ 、対象項目は左の口にチェッ 、対象項目は左の口にチェッ 、対象項目は左の口にチェッ 、対象項目は左の口にチェッ	していることが確認できる。 作業を行っていることが確認できる。 にてから使用していることが確認を行っていることが確認できる。 とが確認できる。 いて、必要な塗膜厚を確保して に年月日、ロット番号、色彩、数1	きる。 認できる。 いることが確認できる	進	ばらばばらばら	の評価 つきが5(つきが8(ため、監督 指示を行い。 20%以下 20%以下 20%以下 30%を越える 断不可能	則定方法又は 適切であった 職員が文書で	(快鱼・ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
			④なお、評価対象項目数が2項		する。	11111	%以上90%未満	а'	b	ь'	Ъ'	
						値 60%	%以上75%未満 // 未港	b '	ь'	c	С	
						注 試験系	の不倫	Ü	の判断がで	きない場合は評	価対象項目	

考查項目	細別	工種	a 優れている	b やや優れている		<u>c</u> 他の評価に該当しない	d やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ばえ	塗装工事 (工場塗装を除 く)	「評価対象項目」 ① 塗装の均一性が良い。 ② 細部まできめ細かな施工 ③ 補修箇所が無い。 ④ ケレンの施工状況が良好 ⑤ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・ 該当項目が3項目 該当項目が2項目 該当項目が1項目以下・・・・	· a · b · c	1 1-1-20	

		(検査職員)
考查項目 細別 工種 a a' b b' c	l d	e e
3. 出来形 及び出来ば フェーマ ス・	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。
TRBでは変目 □□ ① コンクリートの配合試	80%を超える 判断不可能 b b ' b ' c c c c c c	下 越える

考査項目	細別	工種	а		b		С	d	
与直项日	עכל שיזו	工俚	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ばえ	トンネル工事	「評価対象項目」 ① コンクリート構造物の表面 ② コンクリート構造物の通り ③ 天端仕上げ、端部仕上げ等 ④ クラックが無い。 ⑤ 潔水が無い。 ⑥ 全体的な美観が良い。	が良い。		●判断基準 該当項目が5項目以上・・・・ 該当項目が4項目 該当項目が3項目 該当項目が2項目以下・・・・	• b		

					5直央口加连巾衣				(AAT ()
考查項目	細別	工種	a	a'	Ь	b'	С	d	е
考査項目 3. 出来形 及び出来ば え	細別 II. 品質	植栽工事	品質関係の試験結果のは	ばらつきと評価対象項目の履工管理基準、その他設計図書紙一5参照。 建していることが確認できる。 ずれ等が無いよう保護養生をあまま等がいないことが確認すままれていないないよう均一に施肥して、余裕のある植穴を堀り植穴は、よう設置していることが確認場所に据付けていることが確認はらっきで判断可能以下 80%以下 80%以下 80%を超え a' b b' c c c c	はいっさる。 はなっきる。 はなっきる。 はなっきる。 はなっていることが確認できる。 はを行っていることが確認できる。 はを行っていることが確認できる。 はなっていることが確認できる。 はずらつきができる。 はなっきできる。 はなっきできる。 はなっきできる。 はなっきできる。 はなっきできる。 はなっきできる。	5。 さる。 ばらつきの評価 ばらつきがら はらつきがら はらつきがあ はらつきがあ はらつきがあ はらつきで判	0%以下 0%以下 0%以下 0%を越える 断不可能	d □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が書で 指示を行い改善された。	
					② 評価項目数を母数として、 ③ 評価値 (%)=該当項E	ち、対象項目は左の口にチェック 比率(%)計算の値で評価する。 引数() /評価対象項目数(項目以下の場合はで評価とする。			

考査項目	細別	工種	a	Ь		С	d	
与且項目	עכלשיוו	工俚	優れている	やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ばえ	植栽工事	「評価対象項目」 ① 樹木の活着状況が良い。 ② 支柱の取り付けがきめ細が ③ 支柱の取り付けが堅固では ④ 全体的な美観が良い。		該当項目が1項目・・	· · · · a · · · · b · · · · c · · · · d		

												(
考查項目	4mpil	丁任		1 -,	T	L .	<u> </u>		-	_		(検査職員)
ち宜垻日	細別	工種	a	a´	b	b'		С	_	d		
3. 出来形 及び出来ば え	1. 品質	防護柵(網)工		らつきと評価対象項目の履行状況 工管理基準、その他設計図書 紙-5参照。		断基準参照>				□ 品質関係の測 測定値が不適 ため、監督間 指示を行い改	切であった 員が文書で	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期
	1.009	事	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	導標設置基準、道路標識ハント 上がり面において、地山の乱れ エにあたって、無節級でが、 一であたって、無い 一であたって、無い 一であたって、無い 一であれ 一でない 一で設計図書の仕様をして、 に で設計図書のは で設計で 一で設計で で設計で で設計で で で 設計で で で で で で で で で で	れや不陸が生じないように施工 コンクリートの規定を満足して コンクリートの規定を満足していること こしていることが確認できる。 こいることが確認できる。 をあった所定の張力を与えて、 はいることが確認できる。 いることが確認できる。 の仕様を満足していることが確 いなことが確認できる。 の仕様を満足していることが確 なっており、路面への影響が最 こいることが確認できる。	していることが確認できる。 いるのが確認できる。 いるのが確認できる。 調書に定められた強度 認できる。 認できる。 でいることが確認できる。	できる。 る。 以上であることが研 きる。	ばらつき(ロ ばら: ロ ばら: ロ ばら:	つきが50 つきが80)%以下)%を越える		間中に事故等により瑕疵が判明した。
			□□ 16 その他			●判断:	基準					
			理由:					ばら	つきで判問	新可能	ばらつきで	
								50%以下	80%以下	80%を越える	判断不可能	
						_ 9 (0%以上	a	а'	b	b	
				目」のうち、対象項目は左の		評 7	5%以上90%未満	a '	b	b '	ь'	
				母数として、比率(%)計算 =該当項目数()/評価	の他で評価する。 対象項月数()	IE	0 %以上7 5 %未満	b	b '	С	С	
			90112212 (707	一成当項目数 () / 計画: 目数が2項目以下の場合は			0 %未満	b'	C and the 12 or	C	C C	
							験結果の打点数等が 値)だけで判断する		の判断がで	できない場合は計	'恤对冢項目	
						(17)	胆 / たい く刊例する	0				

考查項目	細別	工種	_	а		b		c	d	
与且项目	עכעשאו	上俚		優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ.出来ばえ	防護柵(網)工事		「評価対象項目」 ① 通りが良い。 ② 端部処理が良い。 ③ 部材表面に傷及び錆が無(4) 既設構造物等とのすりつ) ⑤ きめ細やかに施工されて(6) 全体的な美観が良い。	けが良い。		●判断基準 該当項目が5項目以上・・・・ 該当項目が4項目 該当項目が3項目 該当項目が2項目以下・・・・	• b • c		

					5 直块口川连巾纹						/ +A + THE - \
											<u>(検査職員)</u>
考査項目	細別	工種	а	a'	b	b'	С			d	е
考査項目 3. 出来形 及び出来ば え	細別 I. 品質	標識工事	品質関係の試験結果のばら 「関連基準、土木工事施」 ※ ばらつきの判断は別様 「評価対象項目」 「評価対象項目」 「評価対象項目」 「認備機設置要線。視線誘動 「認備等の基礎工の施工 」 「設護柵等の基礎工の施工 」 「多 基礎設置箇所について地 」 「多 基礎設置箇所について地 」 「第一次一プブルを支柱に 」 「カードケーブルの端本ま 」 「 9 ベイント式(常温式)区面 」 図面線施工後の屋間及び	のきと評価対象項目の履行状法 工管理基準、その他設計図書 紙-5参照。 導標設置基準、道路標識ハンド がり面において、地山の刮 にあたって、無筋及び鉄筋 にあたって、既設舗装面へ影け が、設計図書の仕様を満足して、施 で、設計図書の仕様を満足して、 に取付ける場合、設計図書に に対して、設計図書の世様を満足して、 総に使用する別ナーの使用量だ で設計図書の仕様を満足して、 で設計図書の世様を満足して、 でで間の視認性が、設計図書	兄(評価値)から判断する。 <判態に定められた試験] ドブック等の規定を満足している、	ることが確認できる。 していることが確認できる。 いることが確認できる。 が確認できる。 いるのが確認できる。 書に定められた強度以上である 認できる。 認できる。	ことが確認できる。 ばらつき し ばら	の評価 できが5 できが8	□ 品質関係の 測定値が不 ため、監督 指示を行い		(検査職員)
			□□ ③ 区画線を消去の場合、表□□ ④ ブライマーの施工にあた□□ ⑤ 区画線の材料が、設計図□□ ⑥ その他理由: ① 1 当該「評価対象項目数を任金評価がませる。 ②評価では、多つきのでは、 ②評価がいる。 ②評価がいる。 ②評価がいる。 ②評価では、多いました。 ②評価値(~ ~) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	示材 (塗料) のみの除去とれ さって、路面に均等に塗布していることで 引書の仕様を満足していることで 引書の仕様を満足していることで 引書の仕様を満足していることで 引書の仕様を満足していることで 引きの仕様を満足していることでは、 引きの仕様を満足していることでは、 引きのは、 引きのは、 引きのは、 になるには、 になるには、 になるには、 になるには、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	なっており、路面への影響が最近にいることが確認できる。 とが確認できる。 とが確認できる。 のにチェックを記入する。 の値で評価する。 対象項目数()	小限となっていることが確認で ●判断基準 - 90%以上 75%以上960%以上760%末満	きる。	つきが8 つきで判 らっきで判 80%以 a' b b'	0%を越える 断不可能 断可能 下 80%を越える	b b' c c	

考查項目	細別	工種	a 優れている	b やや優れている		c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ばえ	標識工事	「評価対象項目」 ① 設置位置に配慮がある。 ② 標識板の向き並びに角度 ③ 標識板の支柱に変色が無 ④ 支柱基礎が入念に埋め戻 ⑤ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・ 該当項目が3項目 該当項目が2項目 該当項目が1項目以下・・・・	· b · c		

					5直央口:5)在/5)公						(検査職員)
考查項目	細別	工種	l a	a'	Ь	b'					
与且项目	עכלשיוו	工程	-	8 うつきと評価対象項目の履行状況			С		□品質関係の		□ 品質関係の測定方法又は
3. 出来形 及び出来ば え				工管理基準、その他設計図書		刊断季举参照>			測定値が不	適切であった 職員が文書で	測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。
	II. 品質	区画線工事	「評価対象項目」	導標設置基準、道路標識ハントがの面において、地山の乱が、 にあたって、無筋及び鉄筋ニ あたって、無筋は美面へ影響。 認の地耐力を把握して、施コ 、設計図書の仕様を満足して、 に取付ける場合、設計図書に気 は存生中に設置する場合、 に使用するシンナーの使用量が 課に使用するシンナーの使用量が 設計図書の仕様を満足してして	れや不陸が生じないように施 コンクリートの規定を満足し エリートの規定を満足していることができる。 としていることが確認できる。 といることが確認できる。 といることがかないまなを与れ 、10分以下である。 り仕様を満足していることがいまかである。 り仕様を満足していることがいまかである。 の仕様を満足していることがいまかである。 にいることが確認できる。 にが確認できる。	エしていることが確認できる。とが確認できる。とが確認できる。。 ているのが確認できる。 の図書に定められた強度以上確認できる。 確認できる。 確認できる。 でいることが確認できる。 していることが確認できる。 でいることが確認できる。 でいることが確認できる。 でいることが確認できる。 でいることが確認できる。 ではいることが確認できる。 ではいることができる。 ではいるではいるではいる。 ではいることができる。 ではいるできる。 ではいることができる。 ではいることができる。 ではいることができる。 ではいるではいるではいる。 ではいるではいるではいるできる。 ではいるではいるではいるではいるではいるできる。 ではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいる	こであることが確認できる。 はらつははいか確認できる。 はらいはははいない はははいない ははいない はいない はいない はいない は	ばらつきで判 ばらつきで判 80%以 a' b b'	3 0 %以下 0 0 %を越える 断 不可能 川断 可能 下 8 0 %を越える b b' c c	b b' c	引渡し後、瑕疵担保期 間中に事故等により瑕疵 が判明した。

考查項目	細別	工種	a 優れている		b やや優れている		c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え		区画線工事	「評価対象項目」 ① 塗料の塗布が均一である。 ② 視認性が良い。 ③ 接着状態が良い。 ④ 施工前の清掃が入念に実施 ⑤ 全体的な美観が良い。	されている。		●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・ 該当項目が3項目・・・・ 該当項目が2項目・・・ 該当項目が1項目以下・・・・	· · b		_

						う旦切口が住り	110			(検査職員)
考査項目	細別	工種	а		a'	b	p,	С	d	e
3. 出来形 及び出来ば え			品質関係の試験結果 [関連基準、土木工	事施工管理基準	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。				
, ,			※ ばらつきの判断	は別紙ー5参照	点。				4	引渡し後、瑕疵担保期 間中に事故等により瑕疵 が判明した。
	I. 品質	電線共同溝工事	□□ ④ 特殊部の施工基面の □□ ⑤ 特殊部等の施工によ □□ ⑥ 埋戻しにおいて、計 □□ ⑦ 舗装の復旧等が適時	っており、記 見場到着時が、結 り支持力が、ち おいて、隣接す 受計図書の仕様 き行われ、路面 への設置及び土	は験結果から全箇別 前設時等において、 同等となるようにな する各プロックに目 様を満足しているこ 面の沈下や不陸が無 上被りが、設計図書	「が導通していることが確 アスファルト混合物の温 かつ不陸が無いように仕上 引違いによる段差及び蛇行	要管理が記録していることが確認でき げていることが確認できる。 等が無いよう敷設していることが確認 ことが確認できる。 とが確認できる。			
			●判断基準	ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を越え				ばらつきの評価		
						ばらつきで ^{載える} 判断不可能		□ ばらつきが8		
			9 0 %以上	a a	a' 1	2000		日 ばらつきが 日 ばらつきでき	80%を越える 判断不可能	
			7 5 %以上 9 0 %未満	a '	b b	, b,		1 10336	3811 333	
			値 60%以上75%未満	ь	b '	С				
			60%未満 注 試験結果の打点数等が少(評価値)だけで判断する。	b' ┃ >なくばらつきの		c				
						② 評価項目数を母数と③ 評価値(%)=	B」のうち、対象項目は左の口にチェック として、比率(%)計算の値で評価する。 該当項目数() /評価対象項目数(数が2項目以下の場合はで評価とする。			

考查項目	細別	工種	a 優れている	b やや優れている		c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ばえ	電線共同溝工事	② プレキャストコンクリートプロックの蓋ル		nている。	該当項目が3項目以上・・・・ 該当項目が2項目 ・・・・ 該当項目が1項目 ・・・・ 該当項目なし	· · b	

考查項目	細別	工種		a		a'		b	b'	c	d	e (KEINS)
3. 出来形 及び出来ば え	I. 品質	維持工事 (清掃工、除草 工、付属物工、 除雪、応急処理 等)		「評価対象項目」 ① 使用する材料の品質・ 建造物の劣化状況をよる 監督職員の指示事項に 緊急的な作業において 理由 理由 理由 理由 理由	く把握して 対して、現	切であり、かつり 、適切な対策をが 地状況を勘案し、	をしている 施工方法	て材料確認を適宜・的確 ことが確認できる。 や構造についての提案を	を住に行っていることが確認できまた行うなど積極的に取り組んではいるとではない。 ばらつきの評価 ロ ばらつきがち	る。 いることが確認できる。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期 間中に事故等により瑕疵 が判明した。
				判断基準	-	っつきで判断可能 80%以下 80%		ばらつきで 判断不可能	□ ばらつきが8 □ ばらつきが8 □ ばらつきで判	0%以下 0%を越える		
				90%以上	0 %以下	a,	®で越える b	h		211 333		
			評	7.50/011000/±	a '		b '	b '				
			価値		b	b '	С	С				
			IE.	6 0 %未満	b '	С	с	С				
				試験結果の打点数等が少 評価値) だけで判断する。	なくばらつき	の判断ができない	場合は評価	i対象項目				
							2 III 3 III	福項目数を母数として、E 価値(%)=該当項目	5、対象項目は左の口にチェック 比率(%)計算の値で評価する。 数 () /評価対象項目数 (租以下の場合は c 評価とする。			

考査項目	細別	工種	a		b	C	d	
			優れている		やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え		維持工事 (清掃工、除草 工、付属物工、 除雪、応急処理 等)	「評価対象項目」 ① 小構造物等にも注意が払 ② きめ細かな施工がなされ ③ 既設構造物とのすりつけ ④ 全体的な美観が良い。	ている。				

(熔本融昌)

								3 <u>0</u> 4						(検査職員)
考査項目	細別	工種		а		а	•		b	p,		c	d	е
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋防 止等)		② 構造物の劣化③ 監督職員の指	 の品質・形切 状況をよく抵 示事項に対し	B握して、適t いて、現地状況	切な対策を施し 兄を勘案し、6	っていることが 医工方法や構造	が確認できる。 造についての提案	確に行っていること を行うなど積極的に ることが確認できる - - - -	取り組んで	る。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった。 ため、検査瞬員が修補指 示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期 間中に事故等により瑕疵 が判明した。
			●判断基	· 準	li	らつきで判断	可能	ばらつきで			きの評価			
					50%以下	80%以下	80%を越える	判断不可能		ロ ばらつきが50%以下 ロ ばらつきが80%以下				
			9 0	%以上	a	а'	b	b				0%以下 0%を越える		
			章 亚	%以上90%未満	a '	b	b '	Ъ'			ばらつきで判			
			IE.	%以上75%未満	b	ь'	С	С						
				%未満	b'	C	C	C C						
				結果の打点数等が (i) だけで判断する		さの判断かで	さない場合は評	恤对家 項 目						
								② 評価項目 ③ 評価値	目数を母数として、 (%)=該当項	55、対象項目は左のC 比率(X) 計算の値で評 目数() /評価対 項目以下の場合は c 評	平価する。 対象項目数(

考査項目	細別	工種	a		Ь		С	d	
ち登場日	和田万里	工性	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え		修繕工事 (橋脚補強、耐 震補強、落橋防 止等)	「評価対象項目」 ① 小構造物等にも注意が払 ② きめ細かな施工がなされ ③ 既設構造物とのすりつけ ④ 全体的な美観が良い。	ている。		●判断基準 該当項目が3項目以上・・・・ 該当項目が2項目 該当項目が1項目 ・・・・ 該当項目なし	· · b		

	給杏職員	
(

考査項目	細別	工種		a	a'	b	b'	С	d	e
			l f	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	機械設備工事		④ 機器の機能及び性能に係れる	(諾図書のとおり確保され、品質は詳細設計を行い、承諾図書とは、承諾図書と行い、承諾図書とは自について、品質管理書類短話目について、品質管理書類を計算に対け、表質を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	質の確認ができる。 して提出していることが確認できるを整理し品質の確認ができる。 整理し品質の確認ができる。 整理し品質の確認ができる。 をとおり配置され、操作性にする。 は終こついて、試験書類を整理した ることが確認できる。 しいて、まとめていることが確認できる。 と解業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 が確認できる。 ことが確認できる。 ことが確認できる。	ぐれていることが確認できる。 品質の確認ができる。 できる。 こいることが確認できる。 ®できる。		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、整部関員が文書で 指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適けであった ため、検査職員が修補期 であるである。 「選し後、瑕疵担保期 間中に事故等により瑕疵 が判明した。
			●判断基	連 評価値が90%以上・・・ 評価値が80%以上90% 評価値が70%以上80% 評価値が60%以上70% 評価値が60%以上70% 評価値が60%未満・・・	未満・・ a' 法満・・ b 未満・・ b'	② 評価項目数を母数として、 ③ 評価値(%)=該当項E	ち、対象項目は左の口にチェック 比率(%)計算の値で評価する。 刮数 () /評価対象項目数 (頁目以下の場合はc評価とする。			

考査項目	細別	工種	а	b		С	d	
50,00	//w/J5	1±	優れている	やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ばえ	機械設備工事	② きめ細かな施工がなされて ③ 土木構造物、既設設備等と		●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・ 該当項目が3項目 ・・・・ 該当項目が2項目 該当項目が1項目以下・・・	· · b		

/	10 TO 10	
- /	検査職員	
(

考査項目	細別	工種		a	a'	b	b'	С	d	е
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	I. 品質	電気設備工事		② 材料・部品の品質照合の結 ③ 機器の品質、機能及び性能 ④ 操作スイッチや表示灯が運 ⑤ ケーブル及び配管の接続な ⑥ 設備の機能及び性能が、設 ⑦ 操作制御関係の機能及び性能が、設 ③ 設備の含性能が、設計図 ⑨ 現場条件によって機器製品	が設計図書を満足して、成績書 諸図書のとおり配置され、操作 どの作業が、施工計画書に記載 計図書の仕様を満足している。 能が、設計図書の仕様を満足している。 書の仕様を満足している。ことなる。 3 の機能及び性的が確認できた。 18 問書を工夫し作成(修繕(改造) 交換を要する部品及び簡所を8	వ <u>.</u>	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期 間中に事故等により瑕疵 が判明した。		
			●判断	基準 評価値が90%以上・・・ 評価値が80%以上90% 評価値が70%以上80% 評価値が60%以上70% 評価値が60%未満・・・	未満・・ a' 未満・・ b 未満・・ b'	② 評価項目数を母数として、 ③ 評価値(%)=該当項目			_	

考査項目	細別	工種	a		b		С	d	
与且项目	הכישא	工性	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ.出来ばえ	電気設備工事	③ 動作状態において、電気的 ④ ケーブル等の接続方法及び	保、環境及び維持管理等への 及び機械的な異常が無く、総合	合的な機能及び運用性が良い。	●判断基準 該当項目が5項目以上・・・・・ 該当項目が4項目 該当項目が3項目 該当項目が2項目以下・・・・	. b		

							(14			
										(検査職員)
考査項目	細別	工種		а	a'	b	b'	С	d	е
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形 及び出来ば え	I. 品質	通信設備工事・ 受変電設備等工 事		2 材料及び構成部品の品質及 材料の品質照合の結果が、 4 設備、機器の品質、機能、及 5 ケーブル及び配管の運転性能 6 設備全体としての運転性能 7 完成図書において、設備の 8 完成図書において、選体の 9 設備全体及び各機器において 9 設備全体でついての取扱説 完成図書で定期的な点検や	品質保証書等(現物照合を含むび性能が、成績等で確認できた び性能が、成績等で確認できた。 との作業が、施工計画書に記載 が所定の能力を満足しているる 機能並びに性能及び操作方法がの製造年月日及び製造者が判別 で製計図書に規定した記憶 助計図書に規定したの確認 交換を要する部品及び箇所を明	上適合が確認できる証明書等を整修的の確認でき、設計図書の仕様的的で確認でき、設計図書の仕様を満足している。 成された手順に沿って行われ、不見とが確認できる。 対象のに判別できる資料を整備している。 対のできる資料を整備している。 のできる資料を整備している。 のできる質がを整備している。 のできる質がを整備している。 のできる質がを整備している。 のできる質が	を満足していることが確認できる。 ことが確認できる。 具合が無いことが確認できる。 ていることが確認できる。 が確認できる。 ②できる。		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期 間中に事故等により瑕疵 が判明した。
			●判断基	準 評価値が90%以上・・・ 評価値が80%以上90% 評価値が70%以上80% 評価値が60%以上70% 評価値が60%未満・・・	未満・・ a' 未満・・ b 未満・・ b'	② 評価項目数を母数として、 ③ 評価値(%)=該当項E	ち、対象項目は左の口にチェック 比率(%)計算の値で評価する。 3数()/評価対象項目数(頁目以下の場合は c 評価とする。	を記入する。		

考査項目	細別	工種	a		b		С	d	
5直坝口	נכלשיוו	工1重	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え		通信設備工事・ 受変電設備工事	③ 動作状態において、電気的④ 当該設備及び関連設備が全	保、環境及び維持管理等への配 及び機械的な異常が無く、総合	合的な機能や運用性が良い。 合的な性能向上への配慮がなされる	ている。	●判断基準 該当項目が5項目以上・・・・ 該当項目が4項目 該当項目が3項目 該当項目が3項目 該当項目が2項目以下・・・・	· · b	

							13 AL / 13 D <				(
考查項目	細別	工種	a		a'	Ь		b'	С	d	(検査職員)
3. 出来形 及び出来ば え	ניכלשיה	上作	品質関係の試験 [関連基準、土 ※ ばらつきの	木工事施工管理基 判断は別紙-5	と評価対象項目の履行も 準、その他設計図書に	大況(評価値)から判	断する。<判	-	, 0	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期
	I. 品質	ため池工事	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	られている品質管証明書が整備され でではないないでは、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	書に示された規定に従い げられている。 うに排水対策を実施した	き。 こおりに施工している		ー ばらつきの評価 □ ばらつきが □ ばらつきが □ ばらつきが □ ばらつきが □ ばらつきで	30%以下 30%を越える		間中に事故等により瑕疵が判明した。
			●判断基準	げらつ	つきで判断可能	ばらつきで			<u> </u>		
					0%以下 80%を越える	shull then were a file			象項目は左の口にチェックを記ん	入する。	
			90%以上	a	a' b	b		「対象項目数を母数として、比率 「値(%)=該当項目数(率(%)計算の値で評価する。) /評価対象項目数()	
			7 5 %以上 9 0 %未満 6 0 %以上 7 5 %未満	a '	b b'	b '		3、評価対象項目数が2項目以			
			60%未満	b '	ССС	c					
			注 試験結果の打点数等が (評価値) だけで判断する。)判断ができない場合は	評価対象項目					

考査項目	細別	工種	а		b		O	d	
5直坝口	פכלשיוו	1	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	ため池工事	「評価対象項目」 ① 土工の仕上げがよい。 ② 土工の構造物等へのすりつ ③ コンクリート構造物の肌が ④ コンクリート構造物の通り ⑤ 天端仕上げ、端部仕上げ等 ⑥ 漏水がない。 ⑦ 全体的な美観が良い。	よい。 がよい。		●判断基準 該当項目が6項目以上・・・・・ 該当項目が5項目 ・・・・・ 該当項目が4項目 ・・・・・ 該当項目が3項目以下・・・・・	• b		

考査項目	細別	工種	а		a'		b	b'	С	d	е
3. 出来形 及び出来ば え	細別 II. 品質	工種 ほ場整備工事	 品質関係の試験	工事施工管理 判断は別紙一 」 られている品質 記取のようには、 のので。 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。	きと評価対象項目の 選準、その他設計を 5参照。 質管理が実施されて ではいる。 排除レレたる。 非除している。 に対象立ている。 に対象立ている。 に対象立ているが に対象が に対象が に対象が に対象が に対しては、 に対しては、 に対しては、 に対しては、 に対しては、 に対しては、 に対しては、 に対しては、 に対しては、 に対しては、 に対しては、 に対して、 に対して、 に対して、 に対して、 に対して、 に対して、 に対して、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが、 にが	図書に定められた記 いる。 態で施工している している。 表土整地は、仕様 ている。 でいき考慮して施工。 条件により締る。 めの細かな施田がある。 めめ細かな施細がながある。	書及び設計図書により。 されている。 かが実施されている。 かがえる。	M 基準参照 > 新基準参照 > 施工されている。 位	7W%0	d □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった 定か、監督職員ができて 指示を行い改善された。	● 日本の学園
			□□ ⑮ 二次製品の吊り						0%を越える		
			●判断基準								
					うつきで判断可能	ばらつき				<u> </u>	
				50%以下	/>	を越える 判断不可		該「評価対象項目」のうち、対	・免項日は左の口にチェックをi	アンオス	
			90%以上	a	a '	b b	<u>-</u> 2₩	価対象項目数を母数として、比	率(%)計算の値で評価する。		
			価 75%以上90%未満 60%以上75%未満	a b	b 1	c b'		価値(%)=該当項目数(お、評価対象項目数が2項目以)	
			値 60% 8大満	ь'	С	c c	<u> </u>	63、評圖对象項目数分2項目以	.トの場合は し評価とする。		
			注 試験結果の打点数等が少 (評価値) だけで判断する。	>なくばらつき	の判断ができないな	場合は評価対象項目					

考査項目	細別	工種		a 優れている	b やや優れている	_	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	(は場整備工事	000000	「評価対象項目」 ① 均平度がよい。 ② 土工の仕上げがよい。 ③ 土工の通りがよい。 ④ 土工の構造物等へのすりつけがよ ⑤ 用・排水路の通りがよい。 ⑥ コンクリート構造物の通りがよい ⑦ 全体的な取扱がしやすい。		●判断基準 該当項目が6項目以上・・・・ 該当項目が5項目 ・・・・ 該当項目が4項目 ・・・・ 該当項目が3項目以下・・・・	· b · c		

(熔本融昌)

考査項目	細別	工種	а		a'		b	b'	С	d	€ (<u>NEIII)</u>
3. 出来形 及び出来ば え				L事施工管理	型基準、その他設計図		価値)から判断する。<判題 1た試験]	f基準参照>		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期
	 I. 品質 管水路工事 「評価対象項目」 ① 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 □□ ② 材料の品質規定証明書が整備されている。 □□ ④ 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 □□ ⑤ 管の両側面が均等に埋め戻されていることが確認できる。 □□ ⑥ 地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。 □□ ⑦ 管の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 □□ ③ コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。 								0%以下 0%を越える		間中に事故等により瑕疵が判明した。
			評	6以下 809 a b	%以下 80%を越える a' b b' c c c	ばらつきで 判断不可能 b b' c c c	②評価対象 ③評価値(頁目数を母数として、比率(%	/評価対象項目数()	5.	

考査項目	細別	工種	a		b		c	d	
与且项目	עכלשיוו	上俚	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ばえ	管水路工事	「評価対象項目」 ① 管の通りがよい。 ② 付帯コンクリート構造物の ③ 付帯コンクリート構造物の ④ 付帯コンクリート構造物の ⑤ 全体的な美観が良い。	通りがよい。		●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・ 該当項目が3項目 ・・・・ 該当項目が2項目 該当項目が1項目以下・・・・	· · b · · c		

(熔本融昌)

(検査職員)

本本体口	4mmi	T17			_,	1.	1. 1	_		(快貨 脚貝 <i>)</i>
考査項目	細別	工種		a SERRIZ OFFECTE OFF	a'	b	b'	С	d □ 品質関係の測定方法又は	● ● 日本
3. 出来形	i				うつきと評価対象項目の履行状況		< 刊断基準奓照 >		測定値が不適切であった	測定値が不適切であった
及び出来ば	•				管理基準、その他設計図書に定 「「こま図	められに試験」			ため、監督職員が文書で	ため、検査職員が修補指
え	•			ばらつきの判断は別細	瓜一5多炽。				指示を行い改善された。	示を行った。
	п П	港湾工事	_	評価対象項目」						引渡し後、瑕疵担保期 間中に事故等により瑕疵
	I. 品質	(海岸築造工 (海岸築造工		共通】 い防止等環境保全に十分	注意して施工していることが	定詞できる				が判明した。
	•	事)			った思して旭エしていることが。 こう十分検討して施工されている					
	i				う十万検討して施工されている 5十分検討して施工されている。					1
	•				テカ検討して応工されている。 即でされている場合、品質確認に		スートが映画できる			1
	i				をとれている場合、		ることが、単語できる。			1
	i				. 加工されていることが確認できる。	30°				1
	i				れ、統率されていることが確認	②できる				1
	•			浚渫・床掘関係】	100 100 - 010 000 000 000	10 (C 0 0				1
	i				っで漏出がないように施工してい	ハることが確認できる。				1
	i				[仕様書に定められた施工上の]		が確認できる。			1
	i				(況を十分把握して施工されて)	ハることが確認できる。				1
	i				Nることが記録で確認できる。	- 蝶舟ウノ亚わに仕しがって	\フーレが歴記で キ フ			1
	i				合、適切な土量で、許容範囲に L.ても国辺構造物に影響がたし		ハることが唯識できる。 、深く平坦に仕上がっていることが	が確認できる		1
	i				 十分注意して、漏出がないよ			TIEDU COO.		1
	i							能を選定していることが確認できる) ₀	1
	i		□□ 9 ±€	砂運搬において、施工の	効率、周辺海域の利用状況を	考慮して、土砂の運搬経路を	決定していることが確認できる。			1
	i		□□ ⑩ 床場	堀工において、底面、法	・面の施工で出来形の許容範囲を	を超えた場合、置換材と同等	以上の材料で埋戻しを行っているこ	ことが確認できる。		1
	i		□□ ⑪ 置拍	換材の規格・品質が試験	成績表等(現物照合を含む)	で確認できる。				1
	i		□□ ① 砲3	弾等の爆発物が発見され	に場合、関係機関への報告が過	速やかになされていることが	確認できる。			1
	i		[±	地盤改良関係】						1
	i]に行っていることが記録で確語					1
	i				i換材を投入していることが確i					1
	i						品質に施工されていることが打込記			1
	i					ることが打込記録等により配	認できるとともに、打設を完了 <i>し</i> た	たペーパードレーンの頭部が保護され	٦.	1
	i			水効果が維持されている		7 = +T + (This n - + - 7				1
	i				から、仕様書に定められている					1
	i				Nて、記録から仕様書に定められ 5円を済むに行っていることが					1
	i				『理を適切に行っていることが』 - 東亚細馬でなく、 思いま構の		\フーレが歴記で キ フ			1
	i				扁平細長でなく、風化凍壊のる きとなるものを除去してからが					1
	i				- げられていることが記録により		≥ 0.			1
	i)施工が平滑に仕上げられている		3			1
	i			マット、捨石及び均し関			٥.			1
	i				。///』 見格・品質が試験成績表等(現物	勿照合を含む) で確認できる				
	i				で重ね合わせられていることが					1
	i				がゆるみのないよう堅固に施工。					1
	i				防目地板の破損がなく施工され					1
	i		[2	本体:杭及び矢板、控工	関係】					
	i		□□□①鋼材	材の規格・数量がミルシ	/ート等(現物照合を含む)では	確認できる。				
	i				/ 及び塗覆装面に損傷を与えない		ることが確認できる。			
	i		□□ ③ 杭及	及び矢板に損傷及び補修	寝がなく施工されていることが	が確認できる。				
	i		□□ ④ 杭及	及び矢板の打止めの施工	管理方法等が整備され、かつ	記録が確認できる。				
	i		□□⑤腹起	起し材を全長にわたり規	定の水平高さに取り付け、ボル	レトで十分締め付け矢板壁に	密着させていることが確認できる。			
	i		□□ ⑥ タ~	イロッドは隅角部等特別	な場合を除き矢板法線に対し	て直角に設置されていること	が確認できる。			
	i		□□ ⑦ ター	イワイヤーは隅角部等特	別な場合を除き矢板法線に対し	して直角に設置されているこ	とが確認できる。			
	i		□□ 8 溶排	接及び切断の品質管理に	関して仕様書に定められた事具	頁が確認できる。				
	i		[2	本体:ケーソン据付、ブ	「ロック据付関係】					
	i				遺場を調査し、仮置作業が所定の					
				ーソン据付に先立ち、気	「象・海象等を十分調査し、据付	寸作業が所定の精度で行われ	ていることが確認できる。			

						5直央口加连巾衣							(検査	晩ら
考査項目	細別	工種		a	a'	b	Ь,		С			1		144/2
				ケーソン据付等及び中詰に	おいてケーソン及び既設構造	物等の破損がなく施工されている	ることが確認できる。	•						
. 出来形) コンクリートブ ロック据付に先立ち	気象・海象等を十分調査し、	据付作業が所定の精度で行われて	いることが確認で	きる。						
び出来ば				ブロック据付等においてフ	ブロック及び既設構造物等の破	損がなく施工されていることが確	霍認できる。							
-						切な時期を選定されていることだ								
	I. 品質	港湾工事 (海岸築造工				場等を設置し、墜落防止の措置を		確認できる。						
		事)				管理されていることが確認できる								
		3-7	1			るよう実施されていることが確認	3できる。							
					いように施工されていること	が確認できる。								
				【コンクリート関係】	>=1.	の担合は言葉を生りが行われてもい) '#\!\!\	I のHHH /34ccc VV//	D = + 5 ++ 1/-	2 F#W=	Arran = si - si -	E-7		
						の場合は試験練りが行われており		- トツ規格 (強度 、W /(.、 最大宵材粒	住、	きノル唯祕でき	ව තං		
			1			2気量等を試験した結果が確認で っ	ර්රං							
			1		O供試体であることが確認でき		《仕样書に向めこれ	- タルケ港ロレブハフー	トが強靭でき	7 (安山)	パラホコンクロ	したた会かり		
		□□ ④ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパイプレータの機種が仕様書に定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) □□ ⑤ コンウリート強度を管理し必要な強度に違した後に型枠、支保工の取り外しを行っていることが確認できる。												
) 鉄筋の規格が品質を証明す			THE DIST C C C C C							
					が試験値で確認できる。									
		□□ ® コンウリート打設までさび、どろ、油等の有害物質が鉄筋に付着しないよう保管管理がされていることが確認できる。												
					図書を満足したものであること									
					員の技量確認を行っていること 株筋のかぶりを確保しているこ									
					定められた通り行われている		I-f i	うつきの評価						
				有害なクラックがない。				, J G の 計画 ばらつきが50%以 ⁻	F					
				【全体】				ばらつきが80%以						
								ばらつきが80%を ばらつきで判断不可能						
				(理由:				なりつらて出面にいる	36					
				(ÆШ ·			_	of the * ++ Min						
							•	断基準		h h and shot the				
										らつきで判断	1	ばらつきで 判断不可能		
]」のうち、対象項目は左の				50%以下	80%以下	80%を越える			
					数として、比率(%)計算		評	90%以上	a	a '	b	b		
					=該当項目数()/評価 目数が2項目以下の場合は		価	75%以上90%未満	a '	b	b '	ь'		
				一 つるの、 計画	対な とならないの場合は		値	60%以上75%未満 60%未満	b b'	b '	c	c		
							注	■100%末両 試験結果の打点数等が		c その判断がで	c きかい場合け評	C 価対象項目		
								平価値) だけで判断する		= →> Libitu.	C · 本 V · 2007 □ (本町	国人が多い		

考査項目	細別	工種	a		b		С	d	
与且项目	עכ/שיוו	工催	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ばえ	港湾工事 (海岸築造工 事)	「評価対象項目」 ① 構造物の通りがよい。 ② 施工管理記録等から不可視 ③ 構造物等の表面及び端部の ④ きめ細やかな施工がなされ ⑤ 全体的な美観が良い。 ⑥ クラックがない (コンクリ	ている。	える。	●判断基準 該当項目が5項目以上・・・・ 該当項目が4項目 該当項目が3項目 該当項目が2項目以下・・・	· · b		

考査項目 3. 出来形 及び出来ば	細別	工種	a	a'								(検査職員)
3. 出来形 及び出来ば				a	b	b	'	С		d		е
え	I. 品質	港湾工事(浚渫工事)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙—5参照。 「評価対象項目」 【共通】 □ ① 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 □ ② 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 ③ 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 □ ④ 材料等の品質に異常値が想定されている場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。 □ □ ⑤ 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 □ □ ⑥ 一般船に十分注意して施工されていることが確認できる。 □ □ ⑦ 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。 □ ② 沙渫工又は床堀工について仕様書に定められた施工していることが確認できる。 □ ② 沙渫工又は床堀工について仕様書に定められた施工していることが確認できる。 □ □ ③ 期位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されていることが確認できる。 □ □ 1 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。 □ □ 1 土砂処分におけるごと物で記さる・ □ ○ 1 土砂処分におけるごと物で記させていることが確認できる。 □ ○ 1 土砂処分におけるごとがなることが記録を確認できる。 □ ○ 1 土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。								定方法又は 対でであっまで 過ぎなっまで 過ぎされた。	● 日報の別定方法又は別定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 引渡し後、報疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。
			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□									
			□□ ⑬ その他 (理由:									
			_ (在四・			•	判断基準					
									らつきで判断		ばらつきで	
				」のうち、対象項目は左の口			90%以上		80%以下		判断不可能	
			②評価対象項目数を母	数として、比率(%)計算の 該当項目数()/評価対	D値で評価する。 t免項日粉(許	7 5 0/ 101 1: 0 0 0/ + 3#	a ,	a' b	b b'	b,	
				数ゴダロ妖()/ 計画だ 数が2項目以下の場合は (征	0.00/01/05/05/05/05/05/05/05/05/05/05/05/05/05/	b	ь,	С	С	
						14	60%未満	Ъ'	С	с	С	
							試験結果の打点数等が2 評価値)だけで判断する。	少なくばら つ き	きの判断がで	きない場合は評値	価対象項目	

考査項目	細別	工種	а	b		С	d	
与且项目	הכישיי	工催	優れている	やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	港湾工事(浚渫工事)			●判断基準 該当項目が3項目以上・・・ 該当項目が2項目 ・・・・ 該当項目が1項目 ・・・・ 該当項目なし ・・・・	· · b		

														(検査職員)
考查項目	細別	工種		а	a'	b	p,		С			d		е
3. 出来形 及び出来ば え			[関連基	準、土木工事施工管 うつきの判断は別紙	理基準、その他設計図書に定	兄(評価値)から判断する。<判題 められた試験]	所基準参照 <i>></i>				測定値がため、	系の測定方法2が不適切であった が不適切であった 監督職員が文書 行い改善された	きで	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期
	I. 品質	建築工事	事 「評価対象項目」 □ ① 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 はらつきの評価 □ ② 材料の品質証明が適切である。 ばらつきが50%以下 □ □ ④ 品質管理方法が明確である。 ばらつきが80%以下 □ ばらつきが80%以下 ばらつきが80%以下 □ ばらつきが80%以下 ばらつきが80%以下 □ ばらつきが80%と極える □ ばらつきが80%を越える □ ばらつきが70%以下 □ ばらつきが80%を越える □ ばらつきが70%である。 □ ばらつきで判断不可能											間中に事故等により瑕疵が判明した。
					引数として、比率(%)計算			●判断基	準		•			
					=該当項目数()/評値					ばり	っつきで判断	可能	ばらつき	: で
			(4)	はの、評価対象項目	目数が2項目以下の場合は	Ci**1個と9る。				50%以下	80%以下	80%を越える	判断不可	T能
								9 0 %	%以上	a	а'	b	b	
								晋 75%	%以上90%未満	a'	b	b '	b '	
									%以上75%未満	b	b '	с	c	
									%未満	b'	C	C	C	
									結果の打点数等が?) だけで判断する。		の判断かでき	きない場合は評	曲对象項	E _
			(評価値) たげで刊序する。											

考查項目	細別	工種	а	b		С	d	
5旦项目	נכלשא	工作	優れている	やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ばえ	建築工事			●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・ 該当項目が3項目 該当項目が2項目 該当項目が1項目以下・・・・	. p		

					5直头口加建/03						(検査職員)
考查項目	細別	工種	a	a'	b	Ь,	C			d	
3. 出来形 及び出来ば え	פכלשיה	上1生	品質関係の試験結果のばら	つきと評価対象項目の履行状 理基準、その他設計図書に定		·	<u> </u>		測定値がため、監	の測定方法又は 不適切であった 督職員が文書で い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期
	I. 品質	下水道工事	□□ ③ コンクリート打設時の必要 □□ ④ コンクリート供試体が当該 □□ ⑤ 施工条件及び気象条件に適 □□ ⑥ 締固めを適切な条件で施工 □□ ⑦ アスファルト混合物の温度 □□ ⑧ 測量及び測量結果を毎日整 □□ ⑨ 常に切羽及び地表面の状態	ートの配合試験及び試験練が な供試体を採取し、強度・ス 見場の供試体であることが確 した運搬時間、打設時の投入 しており、管の周辺に空隙が 管理が、プラント出荷、現場が を観察して施工されているこ ト等(現場照合を含む)で確 の技量確認を行っている。	行われており、適切なコンクリー ランプ空気量等を適切に行っている 認できる。 高さ、締固時のパイプレータの機構生じていない。 到着、舗装時等で整理されている。 行われた。 とが確認できる。 認できる。	る。	## 100 1	らつきの評価 ばらつきが ばらつきが ばらつきで ばらつきで	80%以下 80%を越える	3	間中に事故等により瑕疵が判明した。
							50%以下	80%以下	可能 80%を越える	ばらつきで 判断不可能	
			①当該「評価対象項目」のう ②評価対象項目数を母数とし ③評価値(%)=該当項 ④なお、評価対象項目数が2	ノて、比率(%)計算の値で 夏目数()/評価対象項	で評価する。 頁目数()	野 90%以上 75%以上90%未清 60%以上75%未清 60%未满	a a	a ' b ' c	b b' c c	b ' c c	
		④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。								価対象項目	

考査項目	細別	工種	a		b		С	d	
与且项目	עכלשיוו	上俚	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ばえ	下水道工事	「評価対象項目」 ① 通りがよい。 ② 漏水がない。 ② フラックがない。 ④ マンホール天端と路面のす ⑤ 全体的な美観が良い。	りつけがよい。		●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・ 該当項目が3項目 ・・・・ 該当項目が2項目 ・・・・ 該当項目が1項目以下・・・・	· · b		

						5直央口/5/22/13公						(検査職員)
考查項目	細別	工種	а		a'	b	b'		C		d		e e
3. 出来形 及び出来ば え			[関連基準、土		理基準、その他設計図書	方状況(評価値)から判断する。 に定められた試験]	、<判断基準参照>			測定値だ ため、監	系の測定方法又 が不適切であっ 監督職員が文書 示い改善された	たり、ション・カールのでした。	質関係の測定方法又は 定値が不適切であった か、検査職員が修補指 を行った。
	I. 品質	コンクリートニ 次製品	「評価対象項 【共通】	目」 証明書又は試験では、 を	食成績書で確認出来る。 が満足されていることが、 1. 構造物の基礎材料の材 着、水密性を保ち段差がな 帯構造物がゆるみがなく が試験等で確認されている。 た接合面の付着・水密性が が施工方法が適切である。 、石積(張)工】 が試験等で確認されている。 、石積(張)工】 が試験等で確認されている。 、不積(張)工】 が試験等で確認されている。 で、水抜きパイプの配置が に、水抜きパイプの配置が に、水抜きが等の排水施設の設置が に、ストリップ等の補強 に、水物である。	質及び締固め等が適切であるこ ないことが確認できる。 固定されている。 ることが確認できる。 が確保されていることが確認で ことが確認できる。	きる。 とが確認できる。 エされていることが確認 により確認できる。	②評価対象項 ③評価値(④なお、評価 ②できる。 ②できる。	ばらつきの評価 □ ばらつきが8 □ ばらつきが8 □ ばらつきが8 □ ばらつきで** 対象項目」のうち、対象 図 はらっきで** 対象項目数として、比略 %) =該当項目数(対象項目数が2項目以下 75%以上90%未満 60%よ者 試験結果の打点数等が2項 呼価値)だけで判断する。	3 O % 以下 3 O % と 域え 3 O % を 域え 3 O % で が で の 場合は 「	ロにチェックを の値で評価とする。 対象項目数 (CPP)価とする。 のっきで判断可 80%以下 a' b' c	間のが半 正記入する。 3。)) 能 80%を越える b c c	ばらつきで 判断不可能 b b' c

考査項目	細別	工種	a		b		С	d	
5旦坝日	עכלשיוו	上悝	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ばえ	コンクリートニ 次製品	「評価対象項目」 ① 構造物に有害なひび割れ: ② 構造物の通りがよい。 ③ 天端仕上げ、端部仕上げ。 ④ 既設構造物とのすりつけ: ⑤ 全体的な美観が良い。	等がよい。		●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・ 該当項目が3項目 ・・・・ 該当項目が2項目 ・・・・ 該当項目が1項目以下・・・・	· · b		

						3.000000000000000000000000000000000000				(検査職員)
考査項目	細別	工種		а	a'	b	þ,	С	d	e
			⟨A⟩ □	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形 &び出来ば え			⟨B⟩		西工管理基準、その他設計図	テ状況(評価値)から判断する。 書に定められた試験]	、<判断基準参照>		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査職員が修補指 示を行った。
	Ⅱ. 品質	浚渫工事		「評価対象項目」 ① 理由					18/17/1W=C1//C.	引渡し後、瑕疵担保期 間中に事故等により瑕疵 が判明した。
				② 理由 ③ 理由 ④ 理由				- - -		
				5 理由 ⑥ 理由 ⑦ 理由				- - -		
				图 理由]			
				例)浚渫工、取壊し工 評価値が90%以上・・ 評価値が80%以上90 評価値が70%以上80 評価値が60%以上70 評価値が60%以上70	····· a %未満・· a' %未満・· b %未満・· b'					
				対象工事がばらつきに	よる評価が適切な工事				<u> </u>	
				②評価値 (%) =該当	、比率(%)計算の値で評 項目数()/評価対象: 別以下の場合は C評価とす:	項目数()	90%以上 75%以上90%未 60%以上75%未	満 b b'	8 0 %を越える	らつきの評価 ばらつきが50%以下 ばらつきが80%以下 ばらつきが80%を越える
	1	1		P			■ 6 0 %未満	b' c	c l	

考查項目	細別	工種	a		b		С	d	
ち直坝日	和田万リ	上性	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ばえ	浚渫工事	「評価対象項目」 ① 細心の注意が払われて施 ② きめ細かな施工がなされ ③ 現河床とのすりつけが良し ④ 全体的な美観が良い。	ている。		該当項目が1項目・	· b · c		

									(検査職員)
考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	С	d	e
3. 出来形 及び出来ばえ	II. 品質	漁場工事	[関連基準、土木工事施] ※ ばらつきの判断は別約 「評価対象項目」 【共通】 □□ ① コンクリートの配合試 □□ ② コンクリート受け入れ時 □□ ③ 圧縮強度試験に使用した □□ ④ 施工条件や気象条件に適 (寒中及び暑中コンクリ	で理基準、その他設計図書にいる。 に必要な試験を実施しております。 に必要なは、一ち参照。 に必要なは、一ち参照。 に必要なは、一ち参照。 に必要なは、一ちでは、対した、一ちでは、対した、一ちでは、対した、対した。 にとする。 にというでは、できいが、できいが、できいが、できいが、できいが、できいが、できいが、できいが	が状況(評価値)から判断する。に定められた試験] の、温度、スランブ、空気量等は を		とが確認できる。 できる。 ばらつきの評価 ばらつきが はらつきが はらつきが はらつきが はらつきが はらつきが はらつきが はらっきで ならが以下 80% a a b b b b c に な な b c c c c c c c c c c c c c c c c c	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。 50%以下 80%を越える 判断不可能 ばらっきで 以下 80%を越える 判断不可能 はらっきで り り り り し し し し し し	□ 別定方法又は 別定方法又は 別定方法の、 の測定方法の、 の測定の、 の適間員が修補指 示を定。 引渡し後、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので
考査項目	細別	工種	a		b		C	d	
3270		-12	優れている	l	やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ば	え、漁場工事(魚礁)	「評価対象項目」 【現場打ちコンクリート、現場打ちコンクリート構造物の表	面状態が良い。 いる・ . FRP製等)】		●判断基準 該当項目が5項目以上・・・・ 該当項目が4項目 該当項目が3項目 該当項目が2項目以下・・・	· · b		

				与直坝日加建用衣								
											(検査職員)_	
細別	工種	а	a'	b	Ф	•	С		d		е	
		[関連基準、土木工事施工	[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で まった ちょう マール アナン ちょう としょう こうしょう こう こうしょう こう こうしょう こうしょう こう こう こうしょう こうしょう こう こうしょう こう こう こうしょう こう									
I. 品質	漁場工事(着定基質)	「評価対象項目」 【共通】 □□ ① 材料の規格・品質が試験 □□ ② 施工計画書に定められた □□ ③ 特記仕様書に定められた	成績表等(現物照合含む)で 計画により管理されている。 施工上の注意事項が守られて	こいる。			□ ば □ ば □ ば	らつきが5(らつきが8(らつきが8(0%以下 0%を越える		引渡し後、瑕疵担保期 間中に事故等により瑕疵 が判明した。	
		□□ ⑤ 濁り防止等環境保全に十	□ ⑤ 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 □ ⑥ 不可視部分の品質管理記録等が適性である。 □ ⑦ その他						所可能	ばらつきで 判断不可能		
		②評価対象項目数を母数として、 ③評価値(%)=該当項目数	比率(%)計算の値で評価 数()/評価対象項目数	iする。 ()	評価値	60%以上75%未満 60%未満 試験結果の打点数等が	a i a' i b b' ぶ少なくばらつ	a ' b b' c	b b' c c	b ' c c c		
		Ⅱ. 品質 漁場工事	田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行 「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書 ※ ばらつきの判断は別紙-5参照。 「評価対象項目」 (特通) (共通) (共通) (共通) (共通) (共通) (共通) (共通) (共	田・品質	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。〈判断基準参野 (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断は別紙-5参照。 「評価対象項目」 (共通) 「評価対象項目」 (共通) 「評価対象項目」 (共通) 「評価対象項目」 (共通) 「評価対象項目」 (共通) 「評価対象項目」 (共通) 「対料の規格・品質が試験成績表等(現物照合含む)で確認できる。(JISA503、5006) 「公施工計画書に定められた計画により管理されている。 「日本	田・品質 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-5参照。 「評価対象項目」 「共通】	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-5参照。 「評価対象項目」 「共通] □ ① 材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合含む)で確認できる。(JISA503、5006) □ ② 施工計画書に定められた計画により管理されている。 □ ③ 特記仕様書に定められた計画により管理されている。 □ ③ 特記仕様書に定められた施工上の注意事項が守られている。 □ □ ③ 満り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 □ □ ⑤ 添り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 □ □ ⑦ その他 理由: ① ② 理由: ②評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)三該当項目数()/評価対象項目数() ④体お礼、評価対象項目とする。との後述表現とする。 ②評価値(%)三該当項目数()/評価対象項目数の場合は(ご評価とする。	田・品質	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。〈判断基準参照〉 □ 開連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ ばらつきの判断は別紙−5参照。 「評価対象項目」 □ 1 材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合含む)で確認できる。(JISA503、5006) □ 2 施工計画書に定められた計画により管理されている。 □ 3 特配仕様書に定められた施工上の注意事項が守られている。 □ 4 測量結果をその都度整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 □ 5 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 □ 「6 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 □ 「7 その他 理由: ■ 1 対象項目は左の口にチェックを記入する。 ②評価対象項目のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() /評価対象項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() /評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。 ■ 2 対象項目は左の口にチェックを記入する。 ②評価値(%)=該当項目数() /評価対象項目数を分数なりとして、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() /評価対象項目数を分別を述える ■ 2 対象項目は左の口にチェックを記入する。 ②評価値(%)=該当項目数() /評価対象項目数が2項目数() /評価対象項目数が2項目数が2項目数で記述の表述を記述した。 ■ 2 対象法果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評析ができない場合は記述さればいますができない場合は記述さればいますができない場合は記述さればいますができない場合は記述さればいますができない場合は記述さればいますができないますができない場合は表述さればいますができないますができ	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。〈判断基準参照〉 □ 品質関係の測定方法又は 別定値が不適びあった ※ ばらつきの判断は別紙−5参照。 「評価対象項目」 「扶通」 □ ① 材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合含む)で確認できる。(JISA503、5006) □ ② 施工計画書に定められた諸画により管理されている。 □ □ ② 特記仕様書に定められた諸画により管理されている。 □ □ ③ 特記仕様書に定められた諸面により管理されている。 □ □ ⑤ 不可視部分の品質管理記録等が適性である。 □ □ ⑤ 不可視部分の品質管理記録等が適性である。 □ □ ⑥ 不可視部分の品質管理記録等が適性である。 □ □ ⑦ その他 理由: □ ① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数() / 評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価対象項目数() / 評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価対象項目数() / 計算の値で評価である。 ② 評価値(%)=該当項目数() / 計算の値で評価する。 ③ 言が当項目数が2項目以下の場合は C評価対象項目数() / 計算の値で評価である。 ② 計断表準 □ ○ ○ 「「対象項目となの口にチェックを記入する。 ○ 「「方・公人上9 の% 水溝」 a ' b b b ' c c c c c c c c c c c c c c c	

考查項目	細別	工種	優れている	b やや優れている		c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ばえ	漁場工事(着定基質)	「評価対象項目」 ① 計画範囲にむらなく分布している。 ② 凹凸がない。		●判断基準 該当項目が2項目 ・・・・ 該当項目が1項目 ・・・・ 該当項目なし ・・・	· · c		

						5直次口加定/11数				(検査職員)
考査項目	細別	工種		а	a'	b	b'	С	d	e
			⟨A⟩	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	I. 品質	その他工事	(B) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C	「関連基準、土木工事施 ※ ばらつきの判断は別線 「評価対象項目」 ① 理由 ② 理由 ③ 理由 ⑤ 理由 ⑤ 理由 ② 理由 ⑤ 理由 ② 理由 ⑤ 理由 ② 評価項目数を母数と ②評価値(%) ③ 3評価対象項目数が2	極工管理基準、その他設計図 低一5参照。 Dきによる評価が不適切な工 して、比率(%)計算の値 項目以下の場合は C評価 にして、比率(%)計算の値 該当項目数() /評価 ででは、に対して、に対して、に対して、に対して、に対して、に対して、に対して、に対して	事 で評価する。 対象項目数 () とする。	評価値が90%以上・・・・ 評価値が80%以上90%未満 評価値が70%以上80%未満 評価値が60%以上70%未満 評価値が60%は上70%未満 で 90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満	・・ a' ・・ b ・・ b'	測定値が不適切であった ため、監督職員が文書で 指示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった だめ、検査職員が修補指 示を行った。 瑕疵担保期 間中に事故等により瑕疵 が判明した。
			•							<u>, </u>
考査項目	細別	工種		a	1	b		С	d	
2200	2/33			優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている	

考査項目	細別	工種	а		b	С	d	
与且项目	עכ/שיוו	工作	優れている		やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅲ. 出来ばえ	その他工事	「評価対象項目」 理由 ② 理由 理由 ④ 理由 ● 理由 ※該当工種からの考査項目	目で考査し、最大考査項目に	は5項目とする。	●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・ 該当項目が3項目 ・・・・ 該当項目が2項目 ・・・・ 該当項目が1項目以下・・・・	· · b	